

社会資本整備審議会 道路分科会 中部地方小委員会（平成22年度 第2回）

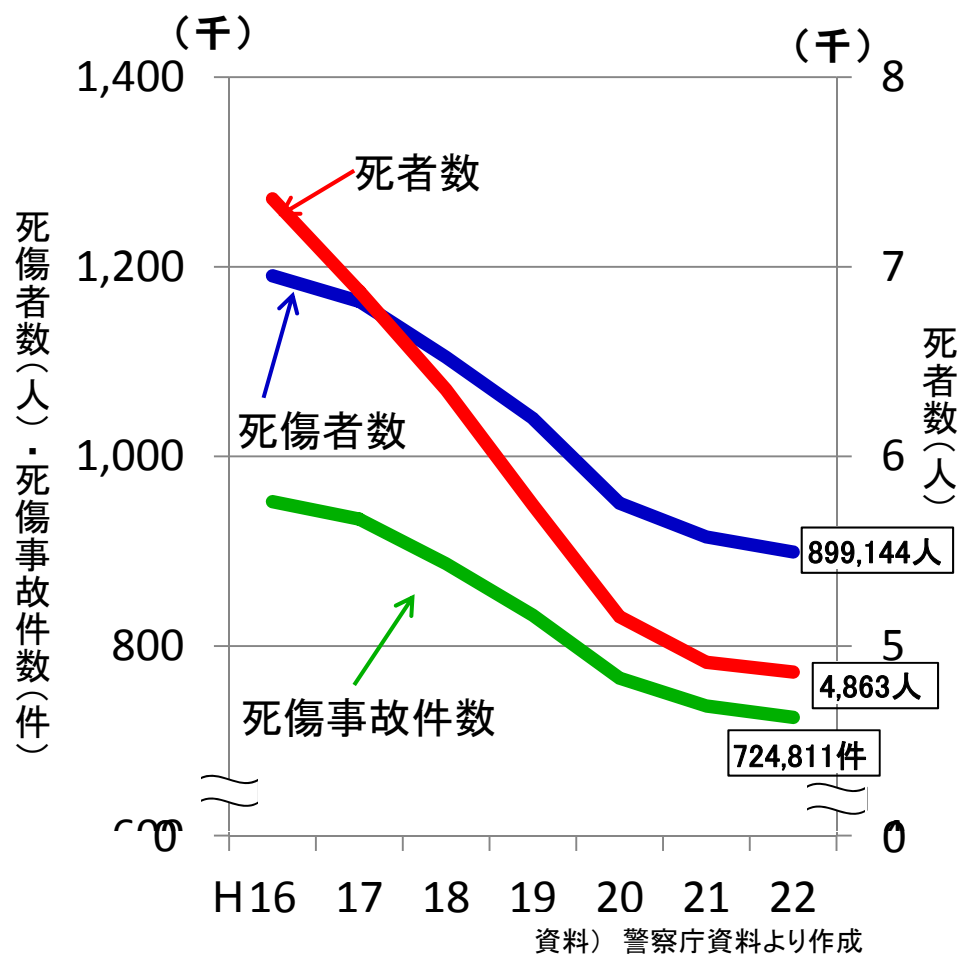
事故ゼロプラン

（事故危険区間重点解消作戦）

（社会資本整備審議会 道路分科会 第2回事業評価部会 抜粋資料等）

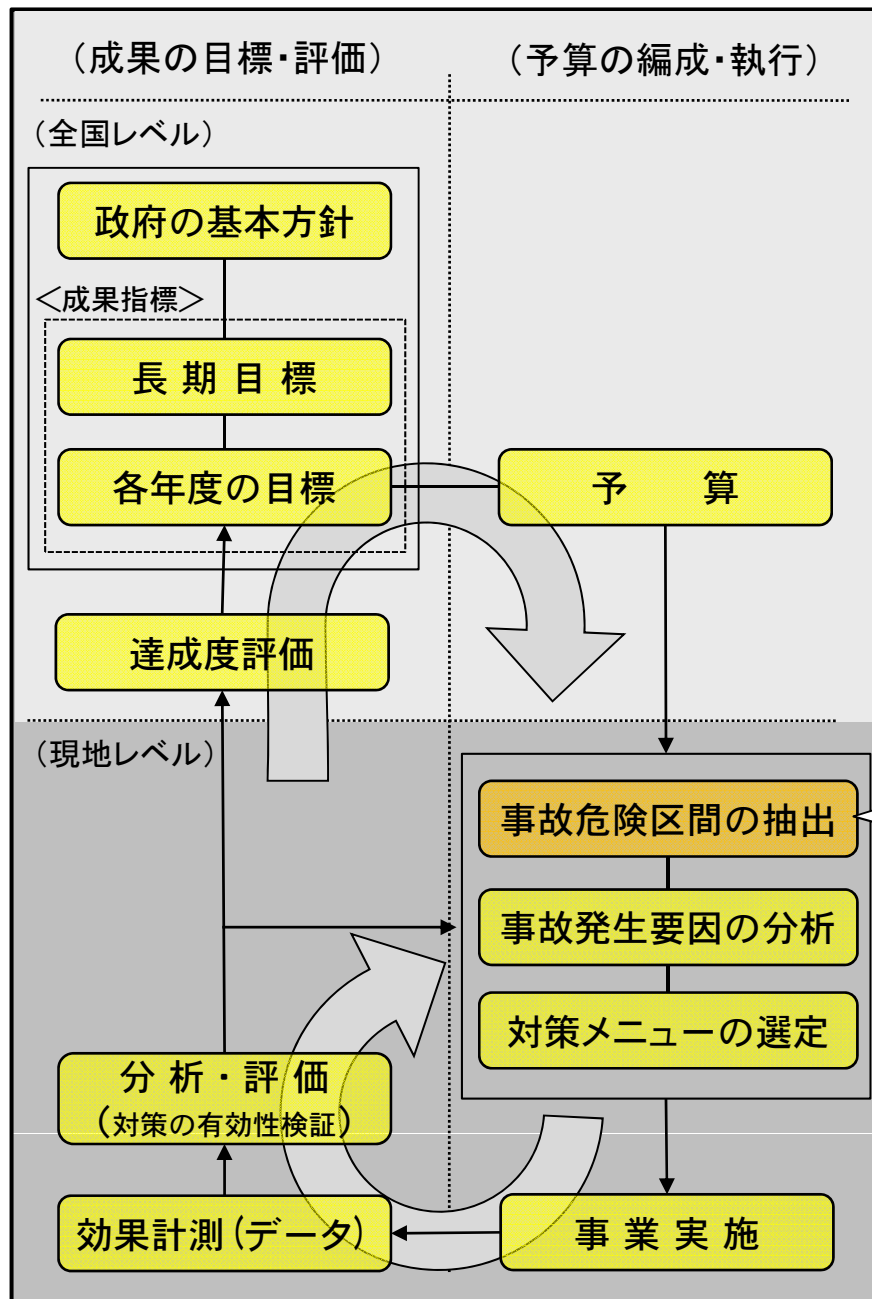
○ 平成22年の交通事故死者数は4,863人となり、死傷者数・死傷事故件数とともに減少しているが、近年下げ止まりの傾向

【交通事故死者数、死傷者数等の推移】



年	死者数 (人)	死傷者数 (人)	死傷事故件数 (件)
	対前年減少率	対前年減少率	対前年減少率
平成20年	5,155 10.3%	950,659 8.6%	766,147 8.0%
平成21年	4,914 4.7%	915,029 3.7%	736,688 3.8%
平成22年	4,863 1.0%	899,144 1.7%	724,811 1.6%

資料) 警察庁資料より作成



- 交通安全分野における「成果を上げるマネジメント」を『事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)』として展開
- 「選択と集中」、「市民参加・市民との協働」により重点的、集中的に対策を講じることにより効果的、効率的に推進

1. 事故の危険性が高い区間を明確化

- ①事故データに基づく区間
死傷事故率、重大事故等の発生件数等
- ②潜在的な危険区間
地域住民、利用者、市町村等からの指摘等

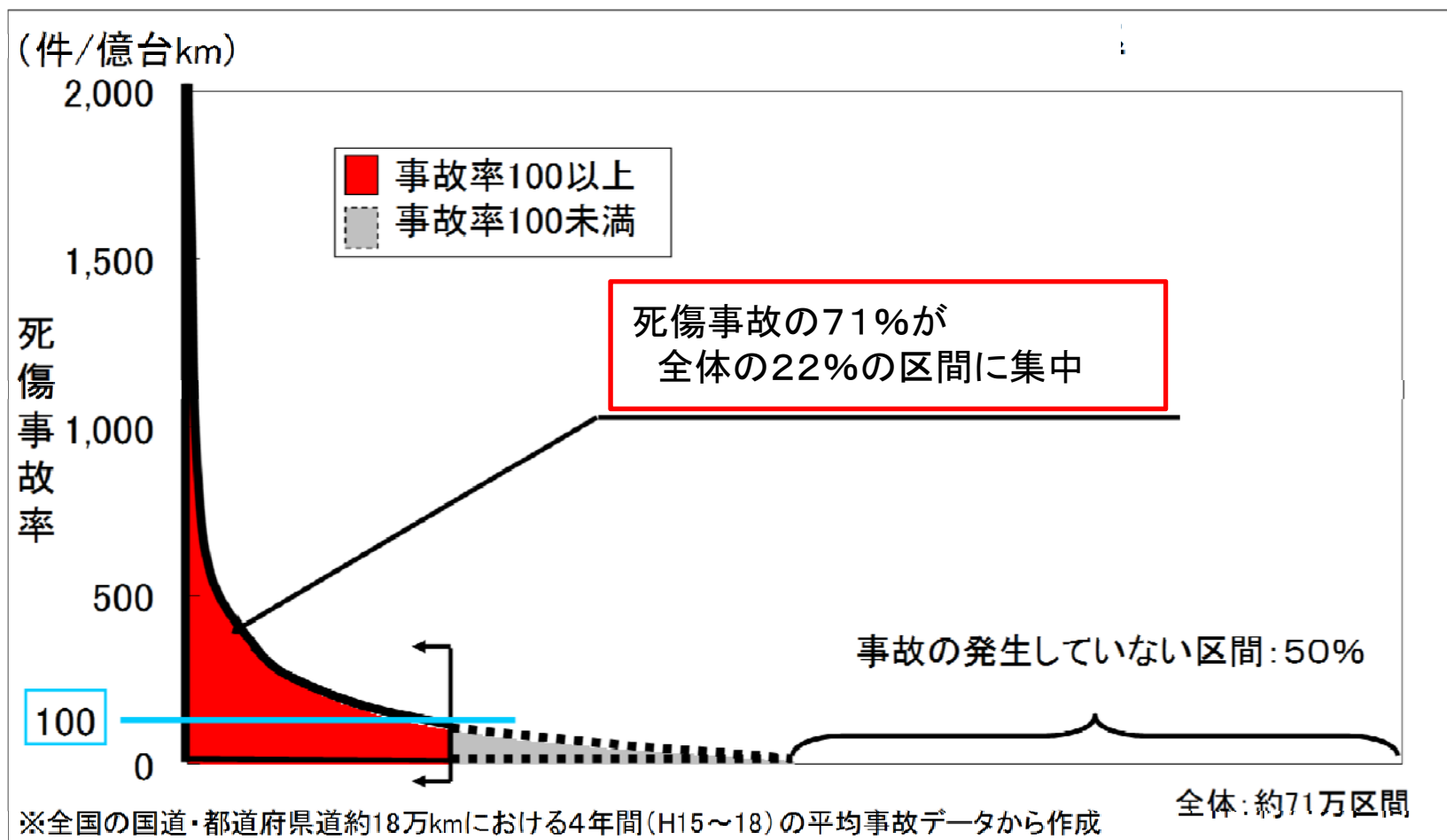
⇒ 全国で14,303区間を選定

(学識者、関係者等からなる委員会から意見を聴取)

2. 情報の共有化(利用者に危険箇所を認識してもらうことで事故削減にも期待)

- ①代表的な事故危険区間の公表
- ②注意喚起看板の設置
- ③地域住民・関係機関等との合同現地点検

- 地域の実情を踏まえ、死傷事故率、重大事故の発生状況等の事故データに基づき事故危険区間を抽出



- 潜在的危険区間の把握にあたっては、地域の実情を良く知っている市町村や道路利用者団体、地域住民等へのアンケート等を実施し、地域の声を幅広く収集
- 事故危険区間リストの作成にあたっては、学識経験者、道路利用者、関係機関等からなる委員会を設置し意見を聴取

【住民アンケートの状況(京都府)】

国土交通省近畿地方整備局が京都府内の直轄国道の危険箇所を把握してリスト化しようと、府民から情報を募っている。こうした情報や事故発生データを組み合わせたリストを基に対策を立て、早ければ来年度から危険解消に向け工事に着手する方針。

国土交通省は交差点の改良

近畿整備局 情報募る

府内国道「危険」教えて

地域の声対策に反映

平成22年11月1日 京都新聞

【委員会の開催状況(北海道)】



国道での事故

9%の区間に集中

「特に危険」573カ所公表へ

道内の国道で発生する交通死傷事故の半分は、全体の9%の区間に集中していることが、北海道開発局の分析で分かった。開発局は14日、このうち特に事故が発生しやすい573カ所を「危険区域」に選定し、同局の事故対策検討委員会(委員長萩原亨・北大大学院教授)に示した。今後、委員の意見を踏まえて、来年1月に公表する。

開発局によると、道内すべての国道を約2万4000区間に分類し、05〜08年に起きた交通事故を分析したところ、約2200カ所に50%が集中していた。9割が交差点で、うち4分の3は市街地だったという。

この中からさらに、死亡事故が起きたり、高い割合で人身事故が起きていた区域を抜き出し、地域住民の声を反映させて、573カ所を選定した。内訳は▽市街地の一般道41カ所▽郊外の一般道2332カ所▽市街地の交差点205カ所▽郊外の交差点95カ所。路線別で多いのは檜山、後志地方を通る国道5号(72カ所)▽札幌―室蘭間の国道30号(58カ所)▽札幌―旭川間の国道12号(54カ所)―などだった。

萩原委員長は「事故データに利用者の目線を組み合わせたのは画期的。より効率的に安全な道路づくりをするための基礎資料として活用できる」と話している。

【吉井理記】

平成22年12月15日 毎日新聞(北海道)

- 事故危険区間は、全国で14,303区間が選定され、うち事故データに基づく区間が約7割、市民等からの指摘区間(潜在的危険区間)が約3割となっている

整備局等	事故データに基づく選定区間数	市民等からの指摘に基づく選定区間数	選定区間数合計
北海道	278区間	194区間	472区間
東北	1,235区間	237区間	1,472区間
関東	3,823区間	1,145区間	4,968区間
北陸	182区間	100区間	282区間
中部	1,315区間	243区間	1,558区間
近畿	478区間	559区間	1,037区間
中国	1,139区間	359区間	1,498区間
四国	639区間	413区間	1,052区間
九州	1,277区間	503区間	1,780区間
沖縄	95区間	89区間	184区間
全国合計	10,461区間	3,842区間	14,303区間

※両方に該当する区間は事故データに基づく区間に集計

○ 事故危険区間リストの中で、代表的な区間を抽出し、パンフレットやホームページ等で公表

群馬県事故ゼロプラン

(事故危険区間重点解消作戦)

群馬県は全国的にみて人口10万人あたりの死傷事故(推定)は、全国ワースト3位。

群馬県内では、交通事故を無くすために、さまざまな取り組みを行っています。今後も、さらなる取り組みを行い、安全な群馬県を実現していきます。

事故データ及び道路状況等の課題抽出された課題区間かつ高い効果が期待される区間を重点的に対策を実施していきます。

群馬県域移動性(モビリティ)向上(高崎方面)

宮城県 事故ゼロプラン

事故危険区間重点解消作戦

宮城県内で、あなたが一生涯にわたって安全に暮らすために、18に約29件の死傷のうち0.25人が亡くなる。また、宮城県内道路でここ数年で最も事故が多発している区間を重点的に対策を実施していきます。

岐阜県 事故ゼロプラン

事故危険区間重点解消作戦

みんなでつくる安全 あんしん 岐阜のみち

宮城県の事故ゼロプランの報道画面(平成22年12月27日TBCテレビ)

事故危険区間83を公表

国交省事務所 優先的に対策実施

国土交通省は、25日、群馬県内の主要な事故危険区間83を公表した。これらは、各都道府県の事故危険区間の中で、死亡事故の発生件数が最も多い区間として抽出された。公表された区間は、群馬県内では、国道17号、国道50号、群馬県道1号、群馬県道2号、群馬県道3号、群馬県道4号、群馬県道5号、群馬県道6号、群馬県道7号、群馬県道8号、群馬県道9号、群馬県道10号、群馬県道11号、群馬県道12号、群馬県道13号、群馬県道14号、群馬県道15号、群馬県道16号、群馬県道17号、群馬県道18号、群馬県道19号、群馬県道20号、群馬県道21号、群馬県道22号、群馬県道23号、群馬県道24号、群馬県道25号、群馬県道26号、群馬県道27号、群馬県道28号、群馬県道29号、群馬県道30号、群馬県道31号、群馬県道32号、群馬県道33号、群馬県道34号、群馬県道35号、群馬県道36号、群馬県道37号、群馬県道38号、群馬県道39号、群馬県道40号、群馬県道41号、群馬県道42号、群馬県道43号、群馬県道44号、群馬県道45号、群馬県道46号、群馬県道47号、群馬県道48号、群馬県道49号、群馬県道50号、群馬県道51号、群馬県道52号、群馬県道53号、群馬県道54号、群馬県道55号、群馬県道56号、群馬県道57号、群馬県道58号、群馬県道59号、群馬県道60号、群馬県道61号、群馬県道62号、群馬県道63号、群馬県道64号、群馬県道65号、群馬県道66号、群馬県道67号、群馬県道68号、群馬県道69号、群馬県道70号、群馬県道71号、群馬県道72号、群馬県道73号、群馬県道74号、群馬県道75号、群馬県道76号、群馬県道77号、群馬県道78号、群馬県道79号、群馬県道80号、群馬県道81号、群馬県道82号、群馬県道83号。

路線名	区間
国道17号	群馬市元郷社(群馬県道101号交差点)～高崎市小八木(群馬県道101号交差点)
国道50号	群馬市朝日町2丁目～群馬市朝日町1丁目
群馬県道1号	群馬市西片田町1丁目～みどり市大間々町大間々
群馬県道2号	群馬市朝日町2丁目～群馬市朝日町1丁目
群馬県道3号	高崎市上大聖町(上大聖町交差点)
群馬県道4号	高崎市西井町地
群馬県道5号	高崎市上在野町
群馬県道6号	高崎市上在野町
群馬県道7号	高崎市上在野町
群馬県道8号	高崎市上在野町
群馬県道9号	高崎市上在野町
群馬県道10号	高崎市上在野町
群馬県道11号	高崎市上在野町
群馬県道12号	高崎市上在野町
群馬県道13号	高崎市上在野町
群馬県道14号	高崎市上在野町
群馬県道15号	高崎市上在野町
群馬県道16号	高崎市上在野町
群馬県道17号	高崎市上在野町
群馬県道18号	高崎市上在野町
群馬県道19号	高崎市上在野町
群馬県道20号	高崎市上在野町
群馬県道21号	高崎市上在野町
群馬県道22号	高崎市上在野町
群馬県道23号	高崎市上在野町
群馬県道24号	高崎市上在野町
群馬県道25号	高崎市上在野町
群馬県道26号	高崎市上在野町
群馬県道27号	高崎市上在野町
群馬県道28号	高崎市上在野町
群馬県道29号	高崎市上在野町
群馬県道30号	高崎市上在野町
群馬県道31号	高崎市上在野町
群馬県道32号	高崎市上在野町
群馬県道33号	高崎市上在野町
群馬県道34号	高崎市上在野町
群馬県道35号	高崎市上在野町
群馬県道36号	高崎市上在野町
群馬県道37号	高崎市上在野町
群馬県道38号	高崎市上在野町
群馬県道39号	高崎市上在野町
群馬県道40号	高崎市上在野町
群馬県道41号	高崎市上在野町
群馬県道42号	高崎市上在野町
群馬県道43号	高崎市上在野町
群馬県道44号	高崎市上在野町
群馬県道45号	高崎市上在野町
群馬県道46号	高崎市上在野町
群馬県道47号	高崎市上在野町
群馬県道48号	高崎市上在野町
群馬県道49号	高崎市上在野町
群馬県道50号	高崎市上在野町
群馬県道51号	高崎市上在野町
群馬県道52号	高崎市上在野町
群馬県道53号	高崎市上在野町
群馬県道54号	高崎市上在野町
群馬県道55号	高崎市上在野町
群馬県道56号	高崎市上在野町
群馬県道57号	高崎市上在野町
群馬県道58号	高崎市上在野町
群馬県道59号	高崎市上在野町
群馬県道60号	高崎市上在野町
群馬県道61号	高崎市上在野町
群馬県道62号	高崎市上在野町
群馬県道63号	高崎市上在野町
群馬県道64号	高崎市上在野町
群馬県道65号	高崎市上在野町
群馬県道66号	高崎市上在野町
群馬県道67号	高崎市上在野町
群馬県道68号	高崎市上在野町
群馬県道69号	高崎市上在野町
群馬県道70号	高崎市上在野町
群馬県道71号	高崎市上在野町
群馬県道72号	高崎市上在野町
群馬県道73号	高崎市上在野町
群馬県道74号	高崎市上在野町
群馬県道75号	高崎市上在野町
群馬県道76号	高崎市上在野町
群馬県道77号	高崎市上在野町
群馬県道78号	高崎市上在野町
群馬県道79号	高崎市上在野町
群馬県道80号	高崎市上在野町
群馬県道81号	高崎市上在野町
群馬県道82号	高崎市上在野町
群馬県道83号	高崎市上在野町

平成22年12月25日 読売新聞(群馬)

- 道路利用者が事故危険区間を適切に認識することによっても事故削減は期待できることから、代表的な区間において、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間である旨の現地表示(注意喚起看板の設置等)を実施
- 事故が多発している区間、近年重大事故が発生した区間、通学路等、特に市民が関心を持っていると考えられる区間について、地元関係者、県警等の関係機関と合同で現地点検を実施

【注意喚起看板イメージ】

あぶない

**追突事故
多発区間**

事故ゼロプラン進行中!

〇〇県警
国土交通省〇〇国道事務所
TEL: 000-000-0000

事故ゼロプラン進行中!!
~集中的・重点的に交通事故の撲滅を進めます~

ここは〇〇事故多発区間注意して走行しましょう!

当該交差点の事故発生状況! 〇月〇日に重大事故発生や〇件/年も発生

このような対策が必要です!

イメージ

当該交差点事故率曲線を活用
事業中看板

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)とは?
危険な箇所を地域の方と一緒に選定し、地域の方にも危険な箇所との認識を持っていただきながら、集中的・重点的に交通事故の撲滅を目指す取り組みです。

国土交通省 〇〇事務所 TEL000-000-0000

【現地点検の状況】

事故多発の国道246号で現地点検

国交省 県内では交通事故が多発している国道区間の対策として、国土交通省は18日、裾野市内の国道246号沿いで現地点検を行う

「事故ゼロプラン」の対象に昨年、県警とともに策定した交通安全計画

事故危険区間として啓発用の看板を設置した現地点検 一 裾野市御宿

県警や同市、地域の自治会などから関係者ら約30人が参加し、道路状況を確認しながら事故防止策を協議した。国交省が所管の国道を対象に昨年、県警とともに策定した交通安全計画「事故ゼロプラン」の一環。死傷事故が多発している県内229区間を「事故危険区間」に選定して周知を図るほか、信号機や標識の改良などの対策を継続的に講じていく。

現地点検を行った同市御宿の国道246号御宿北交差点では昨年、死亡事故や追突事故が発生した。参加者らは現場で車両の流れを見ながら、右折レーンの拡大やカラー舗装の施工などの対策案を話し合ったほか、ドライバーへの注意喚起を促す啓発看板も設置した。

平成23年1月19日 静岡新聞

平成22年12月27日

国土交通省

中部地方整備局

中部地方の「事故ゼロプラン」が始まります

～「事故危険区間」を明らかにし、集中的・重点的に交通事故の撲滅に取り組みます～

1. 概要

今回、中部地方整備局管内4県において、各県道路交通環境安全推進連絡会議の意見を踏まえ、国管理の国道を対象とした『事故ゼロプラン』*をとりまとめましたのでお知らせします。

『事故ゼロプラン』は、交通事故対策への投資効率を最大限高めるため、交通安全分野において全国的に展開しており、「選択と集中」と「市民参加、市民との協働」の考え方の下、着実に取り組んでいきます。

※ 事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）

- 国土交通省では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、『政策目標評価型事業評価』を導入し、取り組みます。
- 全国の幹線道路では、71%の交通事故が22%の区間で起こっており、このような危険な箇所を「事故危険区間」として選定し、リスト化します。
- 事故危険区間は、中部地方整備局管内4県で1,558区間を選定しています。
（そのうち、代表的な区間224区間（添付の通り）を選定し、今回公表します。）
- 今後、これらの事故危険区間の交通事故対策に集中的・重点的に取り組みます。また、市民が事故危険区間を適切に認識することによっても事故削減は期待できることから、市民との協働による事故削減の観点により、順次、事故ゼロプランの対象区間である旨の現地表示（注意喚起看板の設置等）を行います。

2. 添付資料

- 資料1 中部ブロックにおける事故ゼロプラン作成の流れ
- 資料2-1 岐阜県事故ゼロプランの概要
- 資料2-2 静岡県事故ゼロプランの概要
- 資料2-3 愛知県事故ゼロプランの概要
- 資料2-4 三重県事故ゼロプランの概要

3. 解 禁

指定なし

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、静岡市記者クラブ、浜松市政記者クラブ

5. 問い合わせ先

問い合わせ先：国土交通省 中部地方整備局 道路部 交通対策課

課 長 加納 行雄（かのう ゆきお）

課長補佐 永田 耕之（ながた こうし）

TEL 052-953-8178

※各県事故ゼロプランの詳細については、以下に問い合わせ下さい。

各県毎の問い合わせ先

	担 当 課	連 絡 先	対 応 者
岐阜県 事故ゼロプラン	岐阜国道事務所 交通対策課	058-271-9811	副所長 おくだ たかし 奥田 隆
		058-271-9828	課 長 イトウ よしと 伊東 義人
静岡県 事故ゼロプラン	静岡国道事務所 交通対策課	054-250-8900	副所長 いちぜん おさむ 一前 修
		054-250-8908	課 長 おおた さとし 太田 聡
愛知県 事故ゼロプラン	名古屋国道事務所 交通対策課	052-853-7327	事業対策官 イトウ ひろふみ 伊藤 博文
			課 長 まつもと あきかず 松本 昭一
三重県 事故ゼロプラン	三重河川国道事務所 道路管理第二課	059-229-2222	副所長 ふくだ みつのり 福田 光祐
			課 長 おおがいと さだむ 大海戸 定

※ 中部地方整備局 HP (<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/michirepo/index.htm>) もご覧下さい。

中部ブロックにおける事故ゼロプラン作成の流れ

● 事故危険区間は、中部地方整備局管内4県の国管理の国道で **1,558区間** を選定

第1段階 各県毎に交通事故特性(課題・問題点)の把握
 < 対象 : 管内4県の国管理の国道 約12,800区間 >

岐阜県 2,673区間 静岡県 3,399区間
 愛知県 4,326区間 三重県 2,388区間

第2段階 各県毎に事故危険区間を選定
 < 選定 : 管内4県の国管理の国道 1,558区間 >

岐阜県 214区間 静岡県 229区間
 愛知県 915区間 三重県 200区間

※愛知県は、従来の”事後対策”のみならず”予防対策”を考慮した区間数を示す。

事故データに基づく客観的な選定

< 選定方法 >

- 事故件数を用いた抽出
 - ・死傷事故件数
 - ・死亡や重大事故件数
 - ・事故類型別事故件数
 - …等
- 事故率を用いた抽出
 - ・死傷事故率
 - ・死亡や重大事故率
 - ・事故類型別事故率
 - …等

地元からの意見等に基づく選定

< 選定方法 >

- (アンケート調査等実施)
- ヒヤリハット指摘区間
- 県警との合同点検箇所
- 通学利用ある歩道未整備区間やバリフリ特定経路
- …等

意見

意見

各県道路交通環境安全推進連絡会議

事故危険区間を選定

第3段階 各県毎に事故ゼロプランの概要を公表
 今回記者発表 < 公表 : 管内4県の国管理の国道 224区間 >

岐阜県 50区間 静岡県 74区間
 愛知県 50区間 三重県 50区間

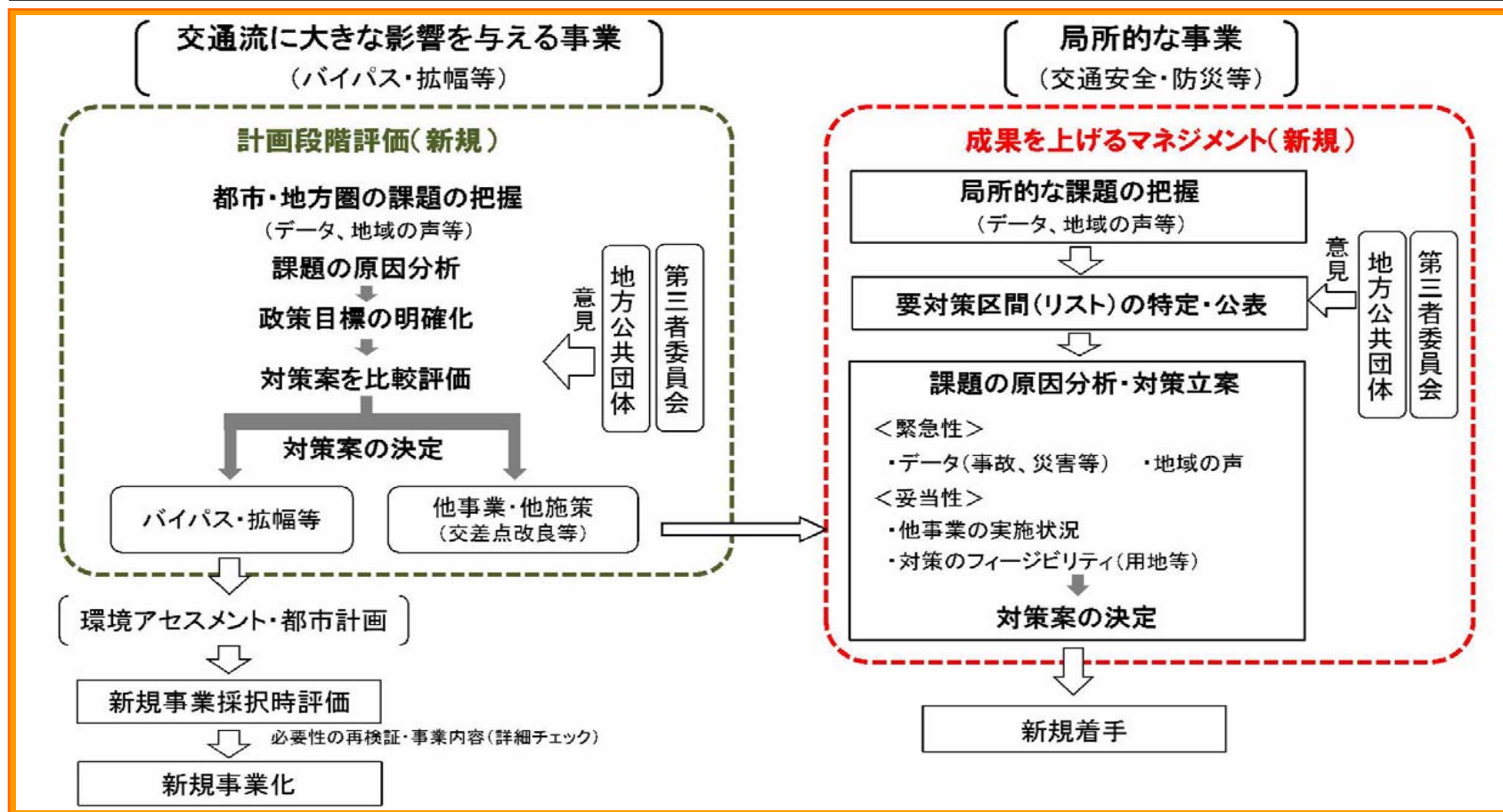
第4段階 各県毎に事故ゼロプランを着実に推進

成果を上げるマネジメント(交通安全分野)の導入

参考

- 公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の向上を図るため、国土交通省は「政策目標評価型事業評価の導入についての基本方針(案)」を公表。
- バイパス・拡幅事業等に計画段階評価を導入するとともに、交通安全事業等の局所的な事業に対し、データ等に基づく「成果を上げるマネジメント」の取組みを導入。

【政策目標評価型事業評価】



政策目標評価型事業評価の導入に係る道路事業における取組みについて(平成22年8月国土交通省記者発表資料)より作成

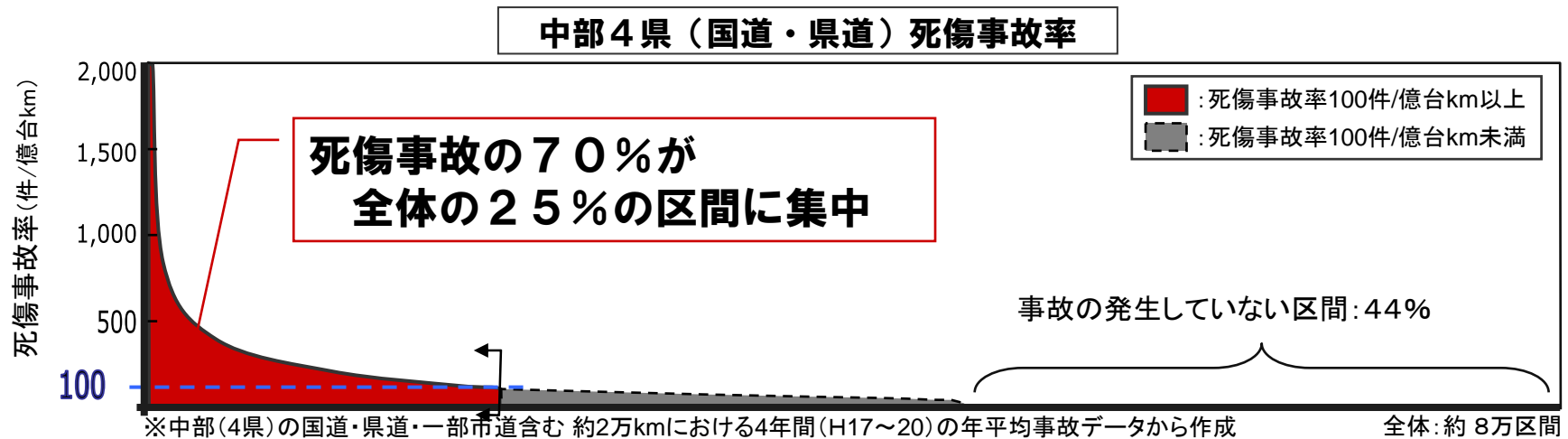
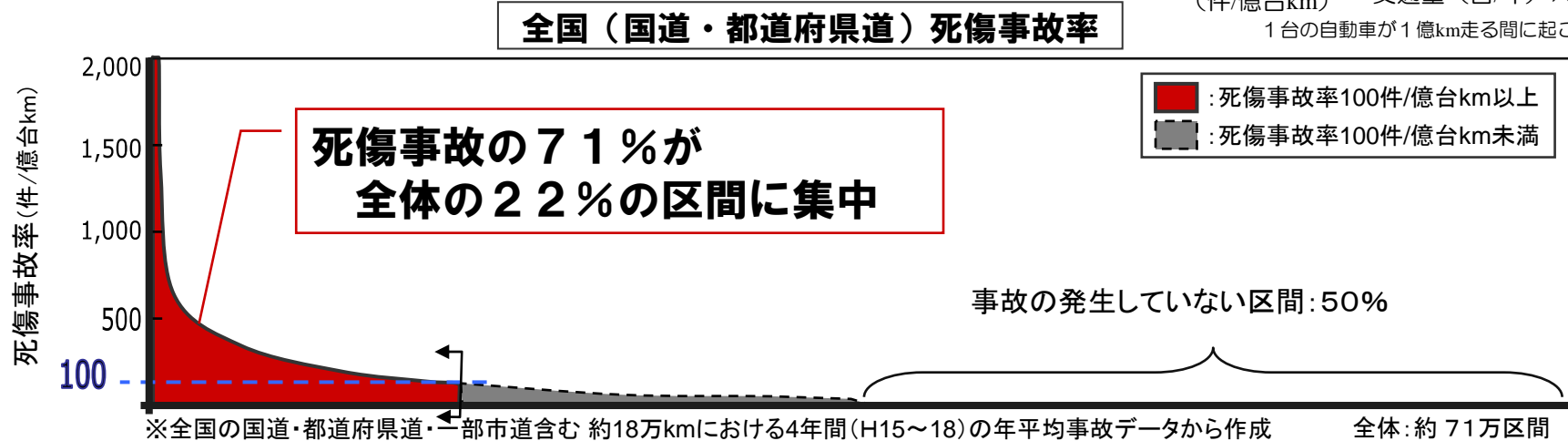
中部ブロックにおける死傷事故の状況

- 全国の国道・都道府県道を約71万区間に分割し、死傷事故率を高い順に並べると、死傷事故の71%が全体の22%の区間に集中。
- 中部4県の国・県道においても、死傷事故の70%が全体の25%の区間に発生しており、特定箇所集中。
- 交通事故は特定の箇所に集中して発生しており、データに基づく対策箇所の選定が重要。

■ 全国、中部4県の死傷事故率 降順グラフ

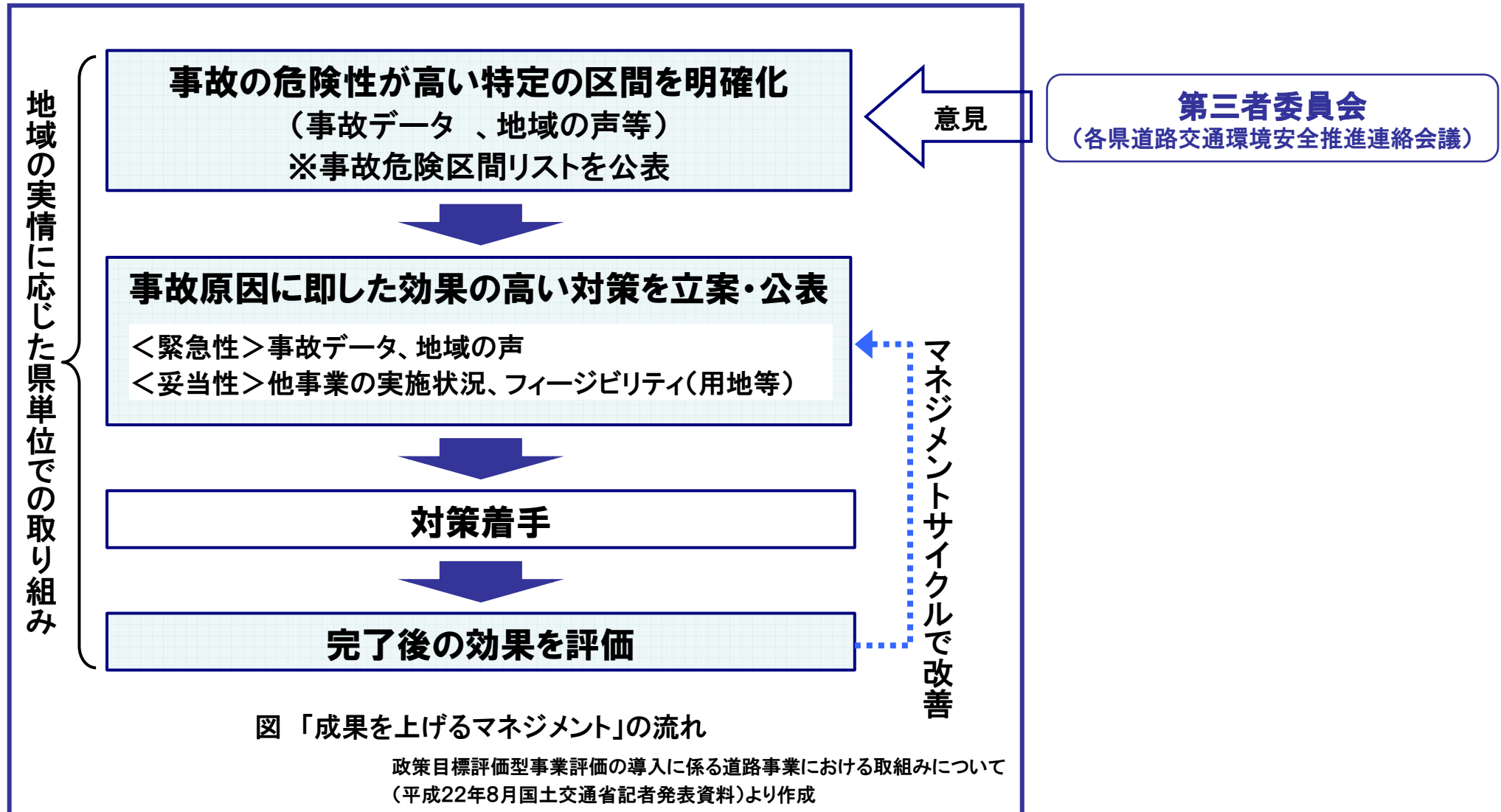
$$\text{死傷事故率} = \frac{10^8 \times \text{平均死傷事故件数 (件/年)}}{\text{交通量 (台/年)} \times \text{区間延長 (km)}} \quad (\text{件/億台km})$$

※死傷事故率 = 1台の自動車1億km走る間に起こりうる死傷事故件数



成果を上げるマネジメント(交通安全分野)の流れ

- 限られた予算の中、交通事故対策への投資効率を最大限高めるため、データや地域の声等に基づいた、「成果を上げるマネジメント」を導入。
- 関係機関(地方公共団体等)からなる会議で意見を伺いながら取組みを推進。



岐阜県

事故ゼロプラン

事故危険区間重点解消作戦



みんなでつくる
安全 あんしん 岐阜のみち

01 プランの概要

交通安全事業の効率性を高め、「成果」を重視した取り組みを導入します

計画の背景

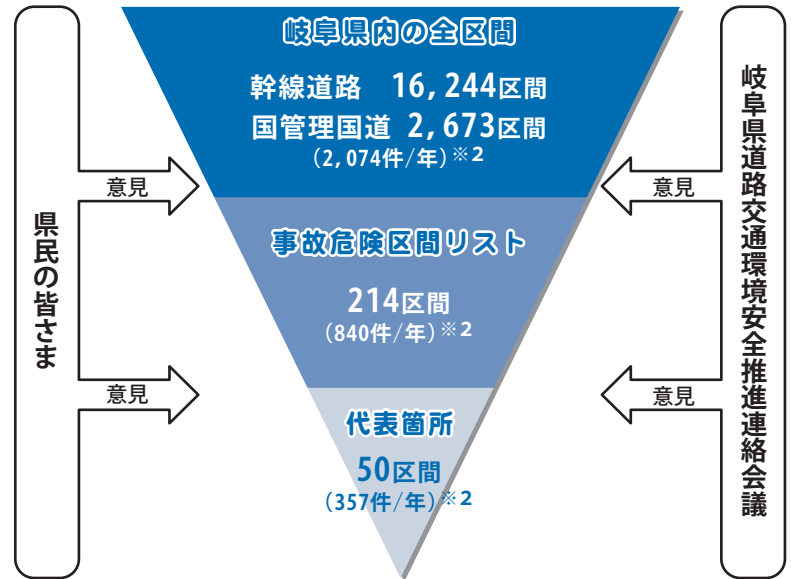
岐阜県内における交通事故は、年間1万件以上発生し、100名を超える方々が事故の犠牲になっています。こうした現状を踏まえ、国土交通省では、交通安全事業の効率性を高めるとともに、県民の皆さまと一体になって重点的に交通事故を減少させるための新たな取り組みとして、「岐阜県事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」をスタートさせます。

計画の概要

岐阜県事故ゼロプラン(以降「本プラン」とします)は、岐阜県内の幹線道路全16,244区間(このうち、国が管理する国道2,673区間)から事故の危険性が高い区間(事故危険区間リスト)および優先的に取り組みを行う区間(代表箇所)を県民の皆さまとの協働により選定します※1。これらの区間に対し、優先的、集中的に対策を実施していくことで、効果的に県内の交通事故を減少させていくことを目指しています。

- ※1：平成22年度は国が管理する国道を対象に取り組みを試行していきます。
- ※2：平成17~20年の年平均死傷事故件数

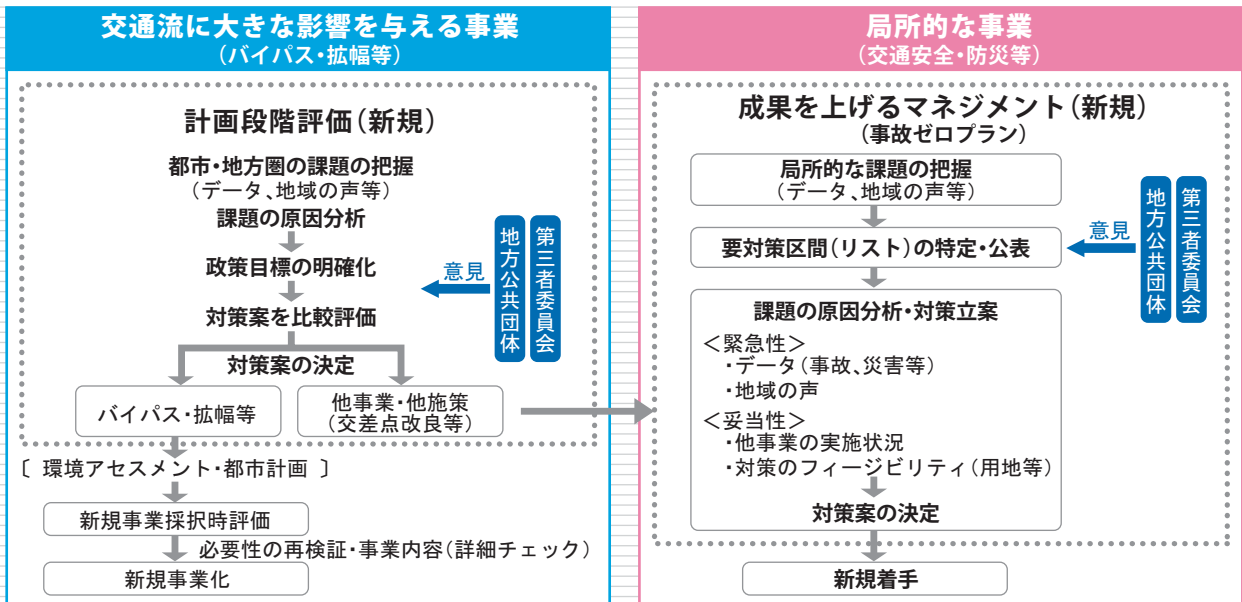
岐阜県事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)のイメージ図



岐阜県の事故ゼロを目指して

参考 「政策目標評価型事業評価」の概要

国土交通省では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るための新たな取り組みとして、「政策目標評価型事業評価」を導入することとしました。事故ゼロプランは、この「成果を上げるマネジメント」を交通安全分野で進めていくための計画です。



政策目標評価型事業評価の導入に係る道路事業における取り組みについて(平成22年8月国土交通省記者発表資料)より作成

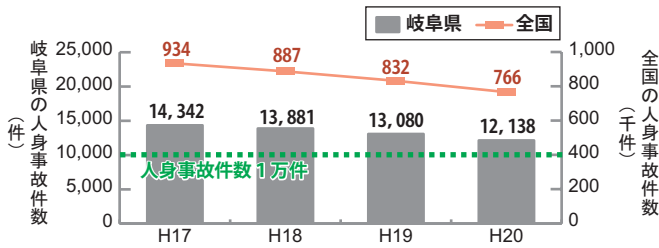
02 岐阜県の事故特性

交通安全に関する岐阜県を取り巻く情勢と課題

岐阜県内では、年間100名を超える方々が交通事故の犠牲になっているほか、高齢者の事故が多く、幹線道路に集中する傾向があります。本プランでは、事故対策を効果的に進めていくため、事故が集中して発生する幹線道路の特定の区間を対象に取り組みを進めます。

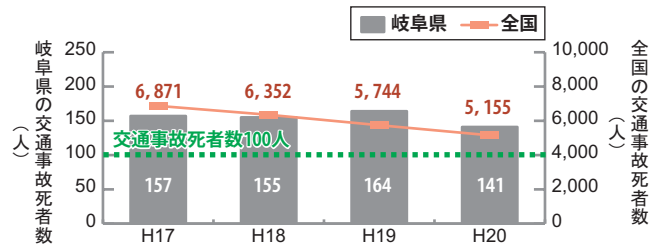
交通事故の特性

■人身事故の推移(岐阜県内全道路) H17~20



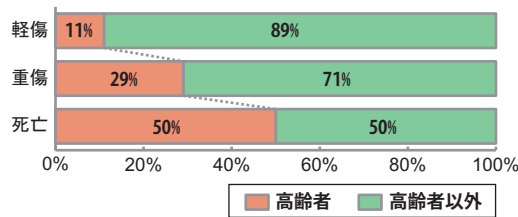
岐阜県内では
年間1万件以上の人身事故が発生

■交通事故死者数の推移(岐阜県内全道路) H17~20



未だ年間100人以上が事故の犠牲に

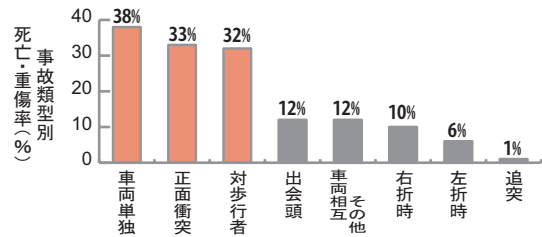
■年齢層別損傷程度(岐阜県内幹線道路) H17~20



重大事故ほど
高齢者※の占める割合が高い

※高齢者:65歳以上

■事故類型別死亡・重傷率(岐阜県内幹線道路) H17~20

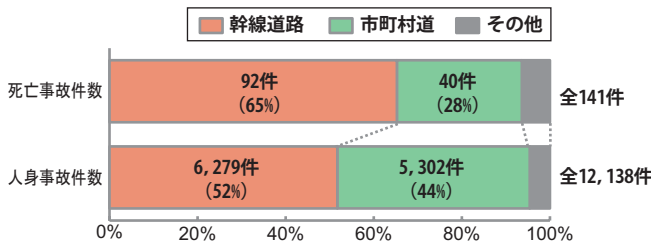


①車両単独事故、②正面衝突事故、
③対歩行者事故は重大事故になりやすい

※踏切事故を除く

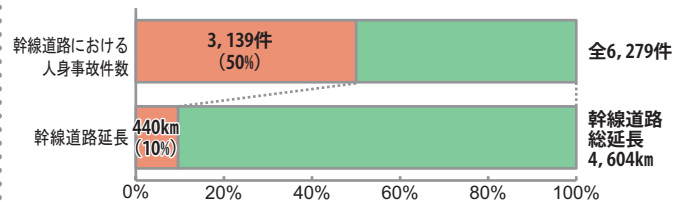
幹線道路への集中

■道路別事故件数(人身・死亡) H20



人身事故の半数、死亡事故の6割は
幹線道路上で発生

■幹線道路における交通事故の集中 H20



幹線道路で発生する人身事故の半数は
延長比で1割の区間に集中して発生

幹線道路延長:道路交通センサス(H17)

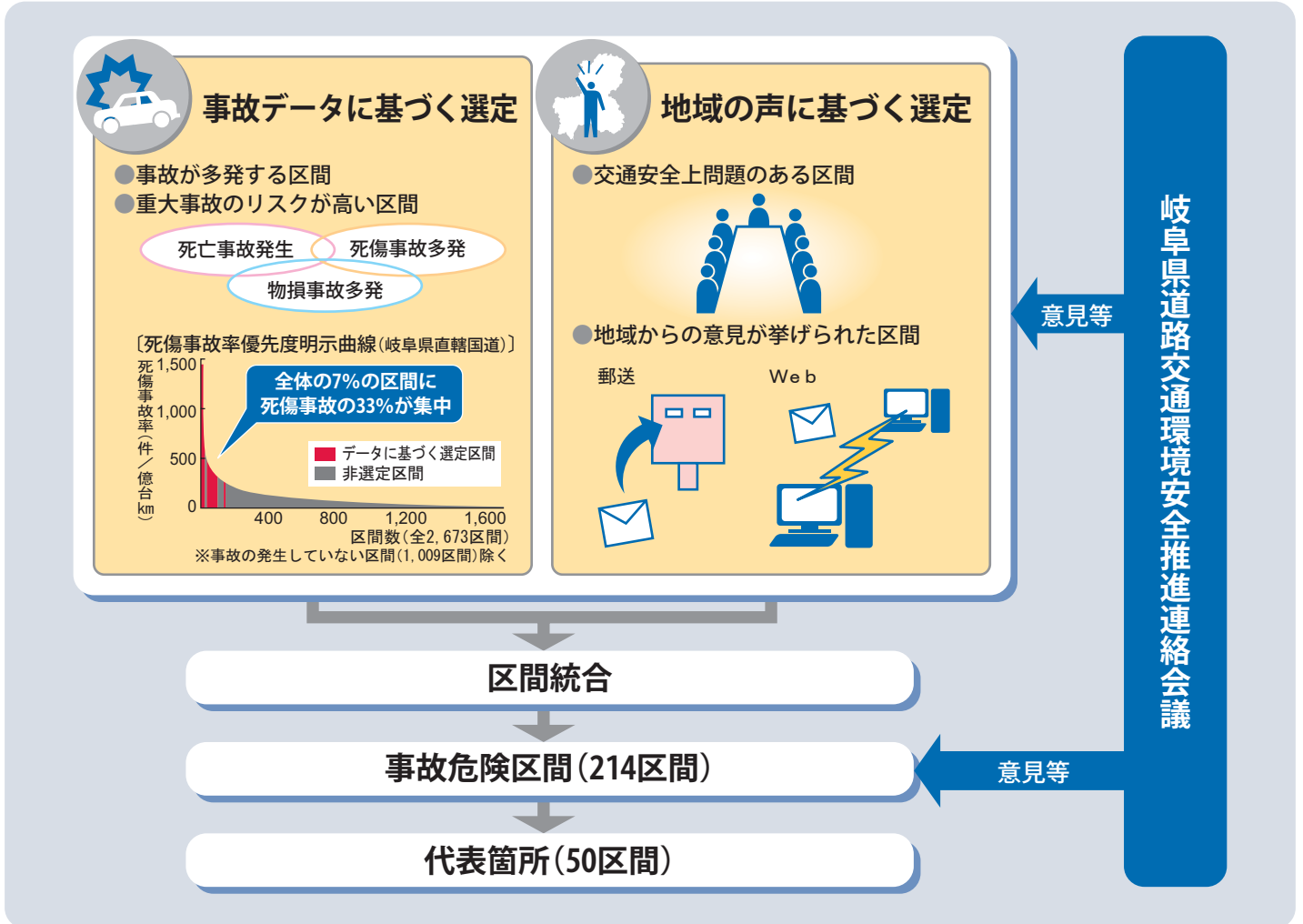
幹線道路:一般県道以上の路線(高速道路除く)
データ:岐阜県警察本部

交通事故を効果的に減らすため、事故が集中する幹線道路の
特定の区間を対象に取り組みを進めていきます。

03 区間選定の流れ

データと県民の皆さまの声を合わせ、客観的で利用者実感の高い区間を選定します

本プランでは、事故データに基づく選定とアンケート等による地域の声に基づく選定を合わせて対象区間を選定します。



事故データに基づく選定

事故多発区間を選定

死亡事故発生	死亡事故	1件/4年以上
死傷事故多発	死傷事故件数 死傷事故率	20件/4年以上 300件/億台km以上
物損事故多発	物損・人身事故	20件/年以上

重大事故のリスクによる選定

年齢特性	高齢者事故	6件/4年以上
事故類型	歩行者・自転車事故	5件/4年以上
	正面衝突事故	3件/4年以上
	車両単独事故	2件/4年以上

地域の声に基づく選定

交通安全上問題のある箇所

交通安全対策委員会の指摘

自治体からの意見

地域からの意見(データには現れない潜在的な危険区間)

道路利用者アンケート

団体等アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ(高齢者の視点) 女性団体(女性・母親の視点)
職業ドライバーアンケート	<ul style="list-style-type: none"> トラック協会 バス協会 タクシー協会 J A F

04 岐阜県における事故危険区間

岐阜県において優先的に取り組む区間(代表箇所: 50区間)

優先的に取り組みを行う区間(代表箇所)として50区間を記載しています。
優先的に取り組みを行う区間(代表箇所:50区間)の他、164区間についても順次、交通事故対策を実施していきます。



- 凡例
- 高規格幹線道路
 - その他有料道路
 - 国道
 - 主要地方道
 - 一般県道
 - 事故データに基づく選定区間
 - 地域の声に基づく選定区間



事故データに基づく選定区間

No.	路線名	箇所名
1	国道 19号	多治見市上野町(上野町~弁天町交差点)
2	国道 19号	土岐市泉町久尻 土岐大橋付近
3	国道 19号	恵那市長島町正家 2丁目(正家交差点)
4	国道 21号	可児市今渡(住吉南交差点)
5	国道 21号	各務原市鶴沼羽場町 3丁目(鶴沼羽場町交差点)
6	国道 21号	各務原市鶴沼各務原町 1丁目付近
7	国道 21号	各務原市鶴沼各務原町 1丁目(各務原町 1交差点)
8	国道 21号	羽島郡岐南町(八剣交差点~徳田交差点)分合流部
9	国道 21号	岐阜市茜部本郷 3丁目(茜部本郷交差点)付近
10	国道 21号	岐阜市茜部中島 3丁目(茜部中島交差点)
11	国道 21号	岐阜市六条南 3丁目(六条交差点)
12	国道 21号	岐阜市数田東 1丁目(数田交差点)
13	国道 21号	岐阜市数田東 2丁目(岐阜県庁前交差点)
14	国道 21号	岐阜市数田南 5丁目(数田南 5交差点)
15	国道 21号	瑞穂市穂積(穂積中原交差点)
16	国道 21号	大垣市楽田町 1丁目(楽田交差点)
17	国道 21号	大垣市河間町 1丁目(河間交差点)
18	国道 21号	不破郡垂井町綾戸(綾戸交差点)
19	国道 22号	羽島郡笠松町円城寺(新木曾川橋 分合流部)
20	国道 41号	加茂郡七宗町中麻生付近
21	国道 41号	加茂郡白川町河岐(信号なし交差点)
22	国道 41号	加茂郡白川町坂ノ東付近
23	国道 41号	高山市久々野町引下付近
24	国道 41号	美濃加茂市太田町(太田町交差点)付近
25	国道 41号	美濃加茂市山手町 2丁目(山手交差点)
26	国道 156号	羽島郡岐南町上印食 7丁目(上印食交差点)
27	国道 156号	郡上市美並町三戸(三日トンネル)付近
28	国道 258号	大垣市伝馬町(伝馬町交差点)
29	国道 258号	大垣市南類町 4丁目(禾森交差点)
30	国道 258号	海津市南濃町駒野(駒野交差点)付近



地域の声に基づく選定区間

No.	路線名	箇所名
31	国道 19号	多治見市池田町 5丁目(池田町交差点)
32	国道 19号	多治見市太平町 3丁目(太平町交差点)
33	国道 19号	多治見市音羽町 5丁目(音羽町交差点)
34	国道 19号	土岐市土岐津町土岐口付近
35	国道 19号	中津川市千旦林(中津川インター口)付近
36	国道 19号	中津川市中津川(中村交差点)
37	国道 19号	中津川市山口付近
38	国道 21号	各務原市鶴沼東町 5丁目(鶴沼東町交差点)
39	国道 21号	羽島郡岐南町八剣 7丁目(岐南インター交差点)
40	国道 21号	不破郡関ヶ原町関ヶ原(関ヶ原西町交差点)付近
41	国道 41号	下呂市金山町金山(井尻交差点)付近
42	国道 41号	高山市久々野町渚付近
43	国道 41号	高山市上岡本町 7丁目(総合庁舎口交差点)
44	国道 41号	飛騨市神岡町西(信号なし交差点)
45	国道 41号	飛騨市神岡町船津(信号なし交差点)
46	国道 41号	飛騨市神岡町牧付近
47	国道 156号	岐阜市入舟町 5丁目(入舟町 5交差点)
48	国道 156号	岐阜市岩田西 1丁目(岩田駅前交差点)付近
49	国道 156号	郡上市大和町徳永(徳永交差点)付近
50	国道 258号	大垣市内原(大垣インター入口)付近

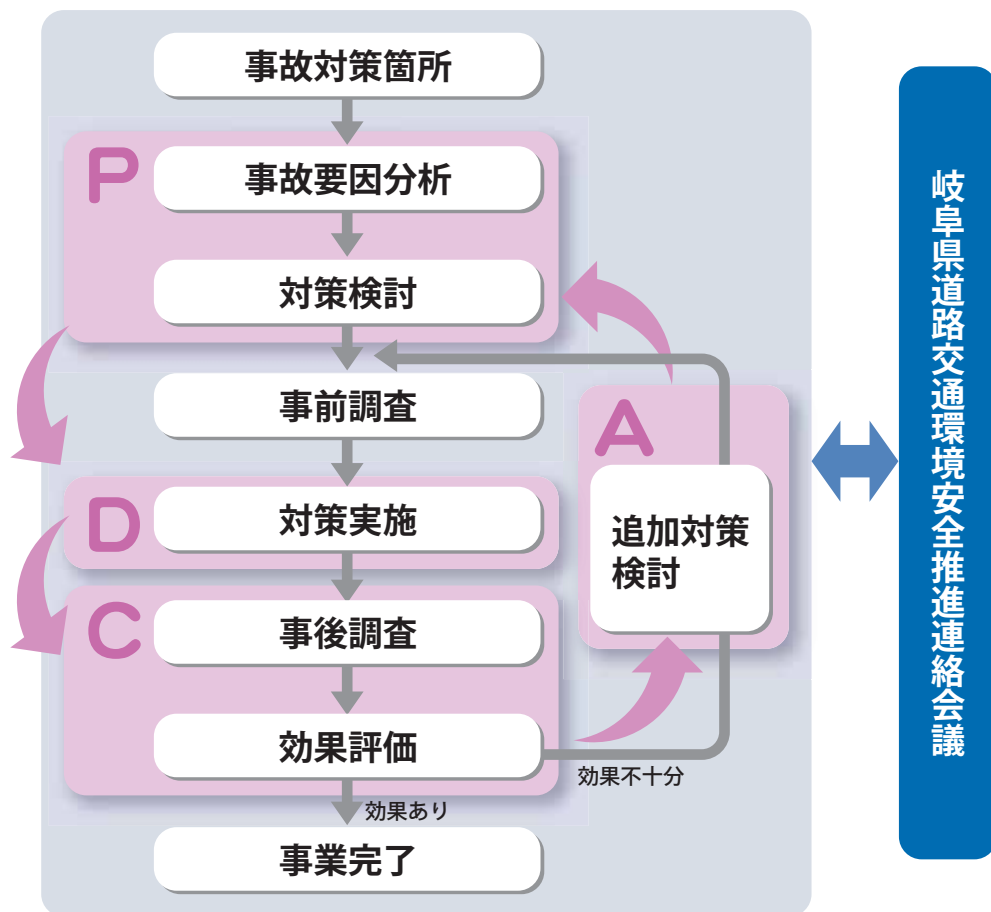
※番号は優先順位を示すものではありません。

05 事故対策の取り組み方針

現地状況に即した対策を実施し、継続的に改善していきます

■ 対策の進め方

個別の選定区間に対する事故対策の取り組みは、事故データや地域の声、現地調査などにより事故要因を明らかにしたうえで、対策検討(P:Plan)～対策実施(D:Do)～効果評価(C:Check)～追加対策検討(A>Action)の流れに沿って進めます。単に選定区間の対策を実施するだけでなく、継続的に事故発生状況をモニタリングし、必要に応じて迅速に改善を加えることで効果的に成果を上げていくことを目指します。



■ 代表的な事故対策メニュー

選定区間に対する事故対策は、国土交通省と岐阜県警が連携し、短・中長期の視点やハード・ソフトの視点から、最も効果的で効率的なものを選定、実施します。なお、必要に応じて地域の皆さまや学識経験者、調査研究機関等からの助言を得ながら検討を進めるものとします。



1 交差点改良

右折レーンがない、形状が複雑などで通行しづらい交差点の形状や区画線等を改良し、安全で円滑に走行できるようにします。



2 歩道等整備

歩道がない、狭いなどで、歩行者や自転車利用者が危険にさらされている区間に、歩道を整備し、安全で安心した通行を実現します。



3 標識・標示等

速度超過や事故が多発する箇所に対し、交通規制の内容や警戒を促す標識や、道路線形や交差点の存在を示す標示を設置し、道路利用者の注意を促します。



4 信号機改良

より安全に通行できるように、信号灯器のLED化、信号現示の見直し、交通規制の見直しなどを行います。

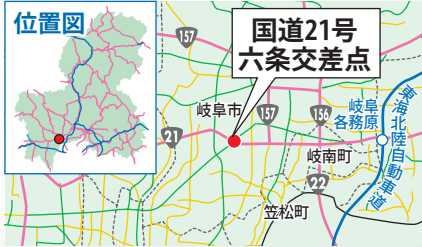
06 整備効果事例

事故削減に向けた取り組みを広げていきます

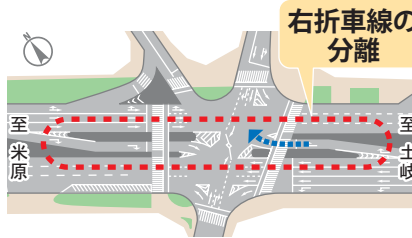
国道21号

六条交差点改良(岐阜市)

交差点を改良し、多発していた追突事故が減少しました。



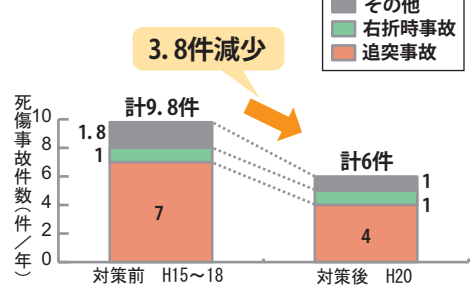
右折車線を分離



右折に伴う事故が多発
右折車線を分離

右折に伴う事故が減少

● 事故発生状況の変化



相対し視界が限られていた右折レーンをずらし、右折待ち車両への追突が減少。

国道156号

河辺地区歩道整備(郡上市)

歩道を拡幅し、地域のお子さんの安全な通学環境が図られました。



歩道を新設・拡幅

● 整備内容

上り線

歩道の拡幅 拡幅前 幅員 2.0 m
拡幅後 幅員 3.5 m

下り線

歩道の新設 新設幅員 3.5 m

片側の狭い歩道で安全性に不安

歩道の両側整備・拡幅



安全・安心な通学が可能に

● 地域のお子さんの声



小学生の声

- ・ 歩道が広がったので、歩きやすくなりました。
- ・ 雨の日いつも水が服にかかっていたけど、かからなくなりました。

アンケート回答は 5,6年生30名

通学路として利用されていた歩道を拡幅し、安全・安心な通学が可能に。

<お問い合わせ先>

国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所 〒500-8262 岐阜市茜部本郷1-36-1
TEL 058-271-9828 (交通対策課) FAX 058-271-8835

多治見砂防国道事務所 〒507-0023 多治見市小田町4-8-6
TEL 0572-25-8027 (道路管理課) FAX 0572-25-7994

高山国道事務所 〒506-0055 岐阜県高山市上岡本町7-425
TEL 0577-36-3824 (管理第二課) FAX 0577-36-3841

岐阜県警察本部 〒500-8501 岐阜市藪田南2-1-1
TEL 058-271-2424 (交通規制課)

静岡県事故ゼロプラン

～事故危険区間重点解消作戦～



静岡県内の交通事故ゼロを目指して！

国土交通省 静岡国道事務所/浜松河川国道事務所/沼津河川国道事務所
静岡県警察

1. 静岡県事故ゼロプランの目的

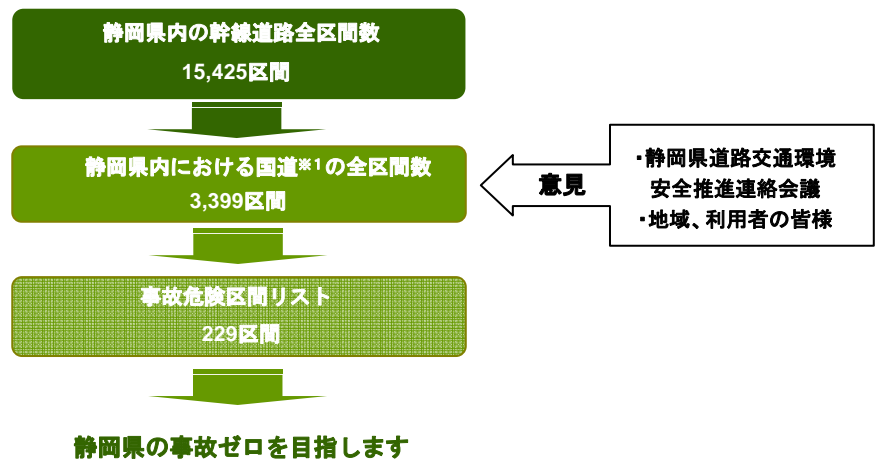
■ 計画の背景

ここ数年、静岡県内における交通事故の発生件数、死者数は減少していますが、まだ、交通事故件数は35,000件を越え、約180名もの尊い命が交通事故で奪われています(平成21年)。こうした現状を踏まえ、「国土交通省及び静岡県警察」では、交通安全事業の効果を高めるとともに、県民の皆さまと一体になって重点的に交通事故を減少させるための新たな取組みとして、「静岡県事故ゼロプラン」をスタートさせます。

■ 計画の目的

国土交通省が管理する国道※2において、事故が発生している危険な箇所や事故の発生を未然に防ぐ箇所を「事故危険区間」として選定し、利用者や沿線住民の皆様に交通事故が起こりやすい危険な箇所をわかりやすく提供します。

交通事故の撲滅に向けて、「選択と集中」と「県民参加、県民の協働」の考え方の下、選定した箇所において、交通事故対策を着実に推進していきます。



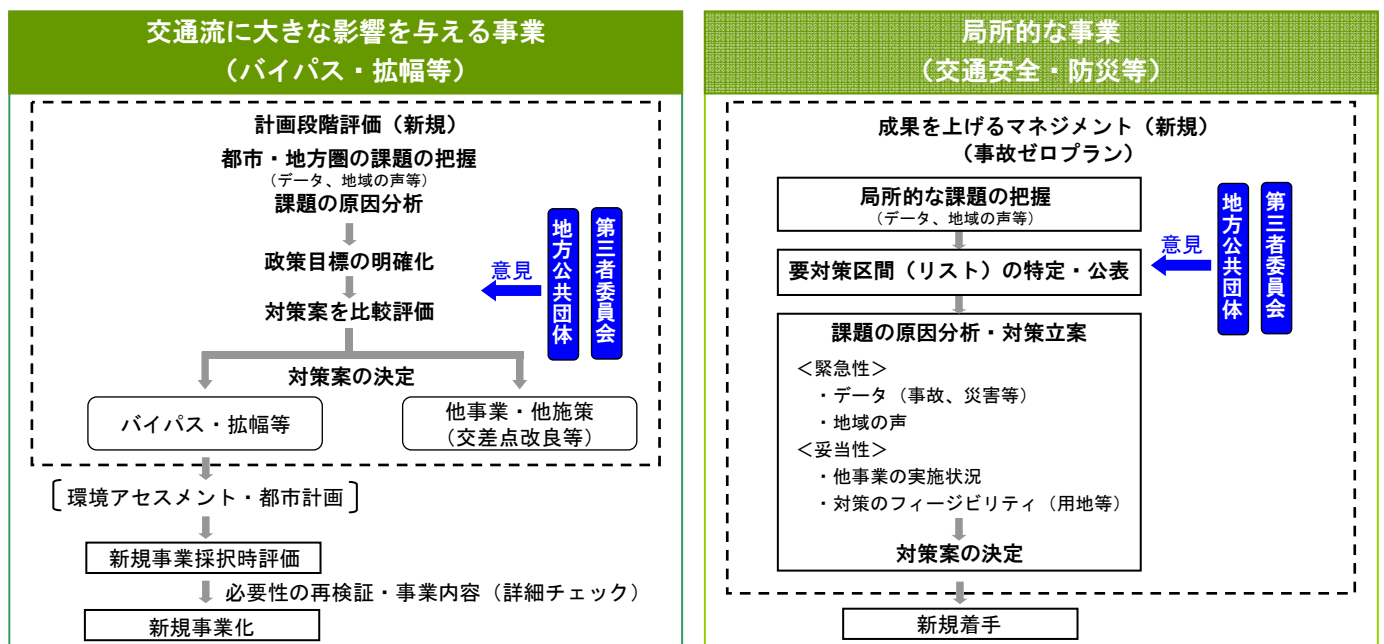
＜静岡県事故ゼロプランのイメージ図＞

※1 国土交通省が管理する国道（国道1号、国道52号、国道138号、国道139号、国道246号、国道474号）
 ※2 平成22年度は国土交通省が管理する国道を対象に取組みを試行していきます。

参考 「政策目標評価型事業評価」の概要

国土交通省では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るための新たな取組みとして、「政策目標評価型事業評価」を導入することとしました。これを踏まえ、道路事業においても、事業の透明性、効率性を一層高めるため、バイパス・拡幅事業等について計画段階評価を導入していくとともに、局所的な事業に対し、データや地域の声等に基づいた、「成果を上げるマネジメント」の取組みを導入します。

「静岡県事故ゼロプラン」は、限られた予算の中、交通事故対策への投資効率を最大限高めるため、この「成果を上げるマネジメント」を交通安全分野で進めていくための計画です。



政策目標評価型事業評価の導入に係る道路事業における取組みについて(平成22年8月国土交通省記者発表資料)より作成

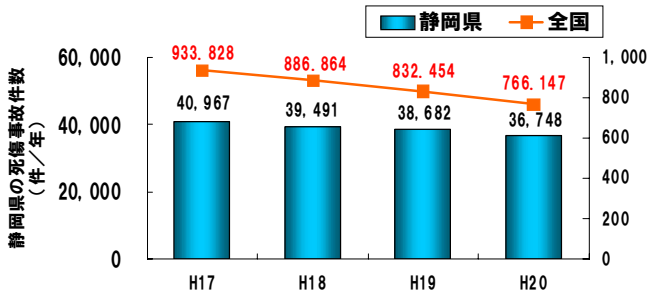
2. 静岡県の交通事故発生状況

静岡県の交通事故の発生件数および死者数は、年々減少傾向にあります。平成21年では35,878件の交通事故が発生しており、死者数は179名にのぼり、交通事故によって尊い命が犠牲になっています。

幹線道路の事故は、死亡につながる事故の割合が高く、特に高齢者による重大事故の発生割合が高くなっています。

本プランでは、交通事故対策を効率的に実施していくため、交通死傷事故が多発する箇所や道路利用者・地域の皆様が危険と感じられている箇所を対象にして優先的に取り組んで参ります。

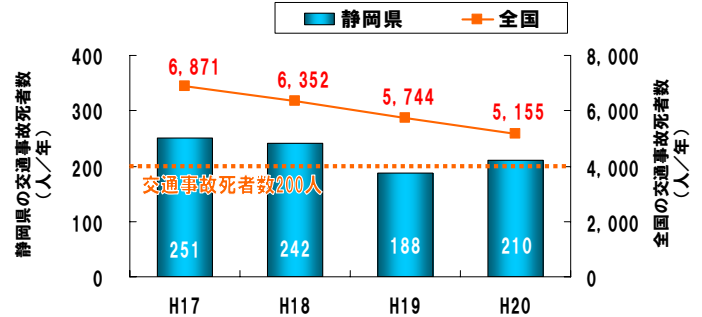
■交通事故 死傷事故件数の推移（静岡県内全道路）



静岡県では、年間3万件以上の交通事故が発生。

出典：交通事故統計(H17～H20)

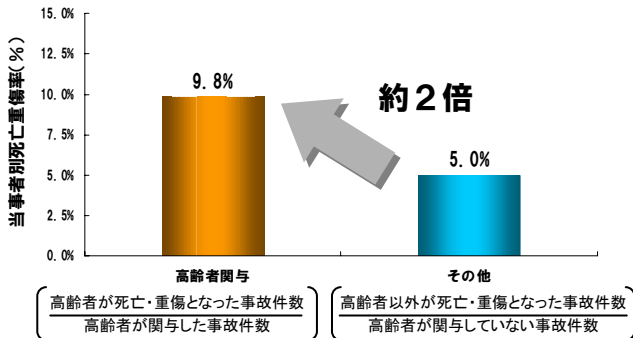
■交通事故死者数の推移（静岡県内全道路）



静岡県では、年間およそ200人の人が交通事故の犠牲に。

出典：交通事故統計(H17～H20)

■当事者別死亡重傷率（静岡県内幹線道路）

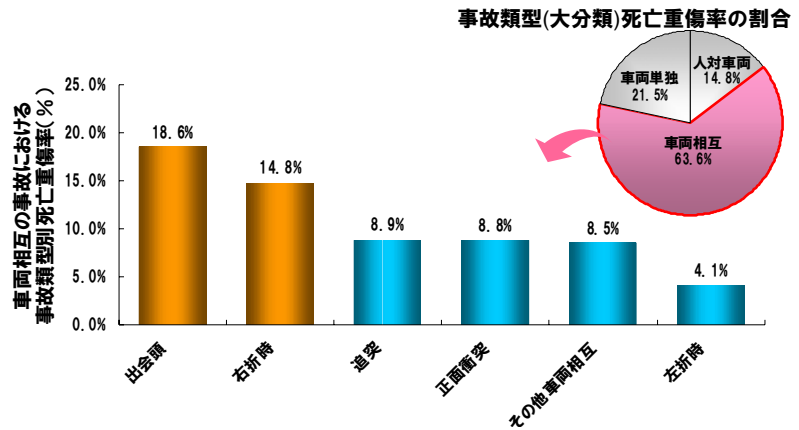


高齢者が関与した事故は、重大事故になりやすい。

出典：交通事故統合データベース(H17～H20)

※第1・第2当事者のどちらかに65歳以上の当事者が含まれる事故

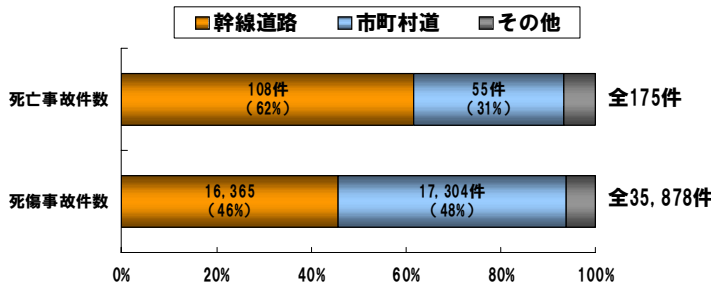
■事故類型別死亡重傷率（静岡県内幹線道路）



車両相互の事故のうち、①出会頭、②右折時の事故は、重大事故になりやすい。

出典：交通事故統合データベース(H17～H20)

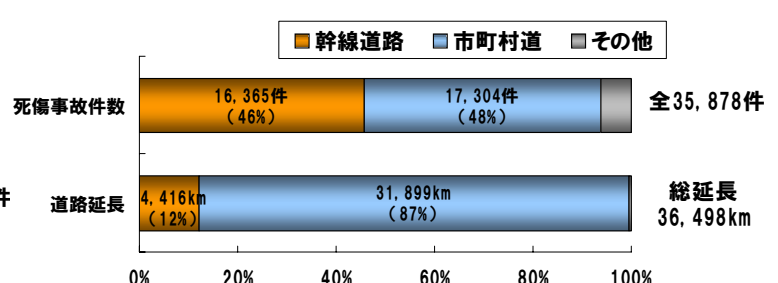
■道路別事故件数（死傷・死亡）



死傷事故の約半数、死亡事故の6割は幹線道路上で発生。

出典：交通事故統計(H21)

■幹線道路における交通事故



幹線道路で発生する死傷事故は約5割、延長比で12%の区間に集中して発生。

出典：交通事故統計(H21)
道路統計年報2009

交通事故を効率的・効果的に減らすため、交通死傷事故が多発する箇所や道路利用者・地域の皆様が危険と感じられている箇所を対象に取り組みを進めていきます。

※死亡重傷率 = 死亡または重傷が生じた事故件数/全事故件数
※幹線道路とは、ここでは国道及び県道のことを指す。

3. 事故危険区間の選定

静岡県事故ゼロプランでは、静岡県内の国土交通省が管理する国道を対象として、交通死傷事故が多発する箇所や静岡県の交通特性を考慮して利用者、地域住民が危険と感じる箇所を事故危険区間として、静岡県道路交通環境安全推進連絡会議※1を経て229区間を選定しました。

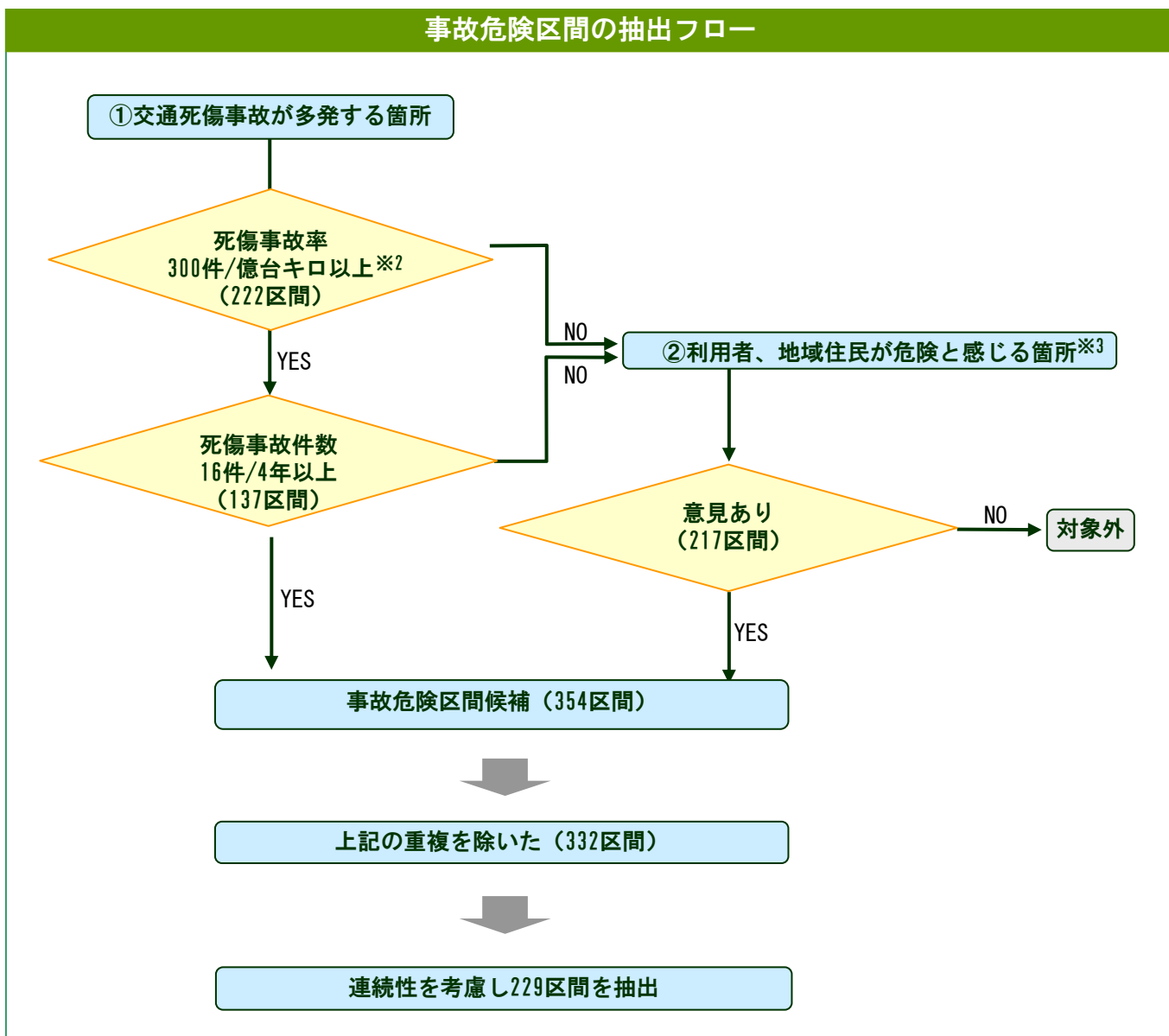
■静岡県事故ゼロプラン 事故危険区間の選定方針

- ①交通死傷事故が多発する箇所 : 死傷事故率300件/億台キロ以上+16件/4年以上
- ②利用者、地域住民が危険と感じる箇所 : ヒヤリハット箇所、地元意見箇所など

※1 静岡県道路交通環境安全推進連絡会議

静岡県内の交通事故の防止を図るため、警察と道路管理者とが連携を図り、安全な道路交通環境の整備や利用者への広報を行うとともに、利用者の意見を交通安全施策に反映することを目的としています

事故危険区間の抽出フロー



※2 死傷事故率とは

1km区間を1億台の自動車が走行したとき、その区間内で死傷事故が発生する割合のことで、死傷事故の起こりやすさの目安となるものです。

※3 利用者、地域住民が危険と感じる箇所の選定方法

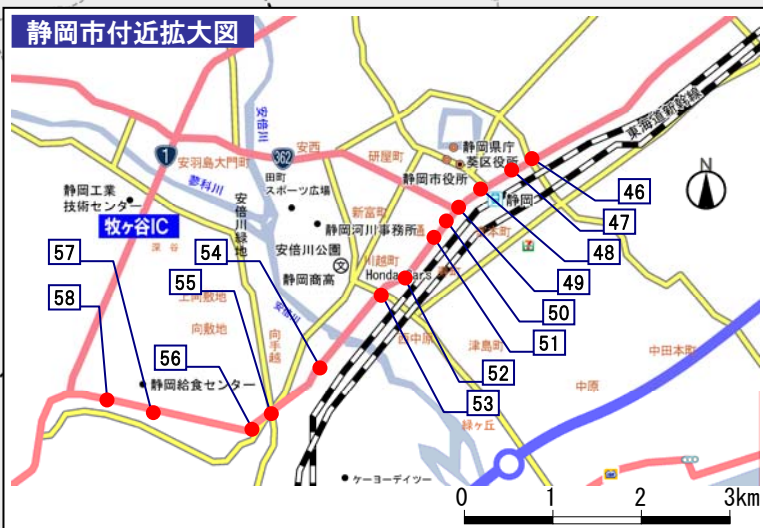
- ・地元の意見 : 沿線市町の意見
- ・ヒヤリハット箇所 : 利用者WEBアンケート
- ・職業ドライバーアンケート
- ・その他 : 歩道、自転車道整備必要区間など

4. 静岡県における主な事故危険区間

静岡県事故ゼロプランの事故危険区間(229区間)のうち、本パンフレットには主な事故危険区間として74区間を記載しています。
 主な事故危険区間(74区間)の他、155区間についても順次、交通事故安全対策を実施していきます。

西部 (浜松河川国道事務所管内)

整理番号	路線番号	交差点名等
62	国道1号	島田市島131~志戸呂地内
63	国道1号	二瀬川交差点(掛川市二瀬川2-38)
64	国道1号	掛川市大池2884~704
65	国道1号	(仮)掛川毎日ホール前交差点(掛川市領家499-1~989)
66	国道1号	梅橋交差点(掛川市梅橋337-1)
67	国道1号	久津部東交差点(袋井市国本2000-7~2029)
68	国道1号	岩井交差点(磐田市岩井2223~2336)
69	国道1号	磐田市岩井2043~西貝塚3561
70	国道1号	国府台北交差点(磐田市見付3421)
71	国道1号	安新歩道橋交差点(東区中野町449~安新町123-3)
72	国道1号	長鶴交差点(東区長鶴町255)
73	国道1号	南区新橋町1927-2~南区堤町904
74	国道1号	湖西市新居町新居3448~3380-416

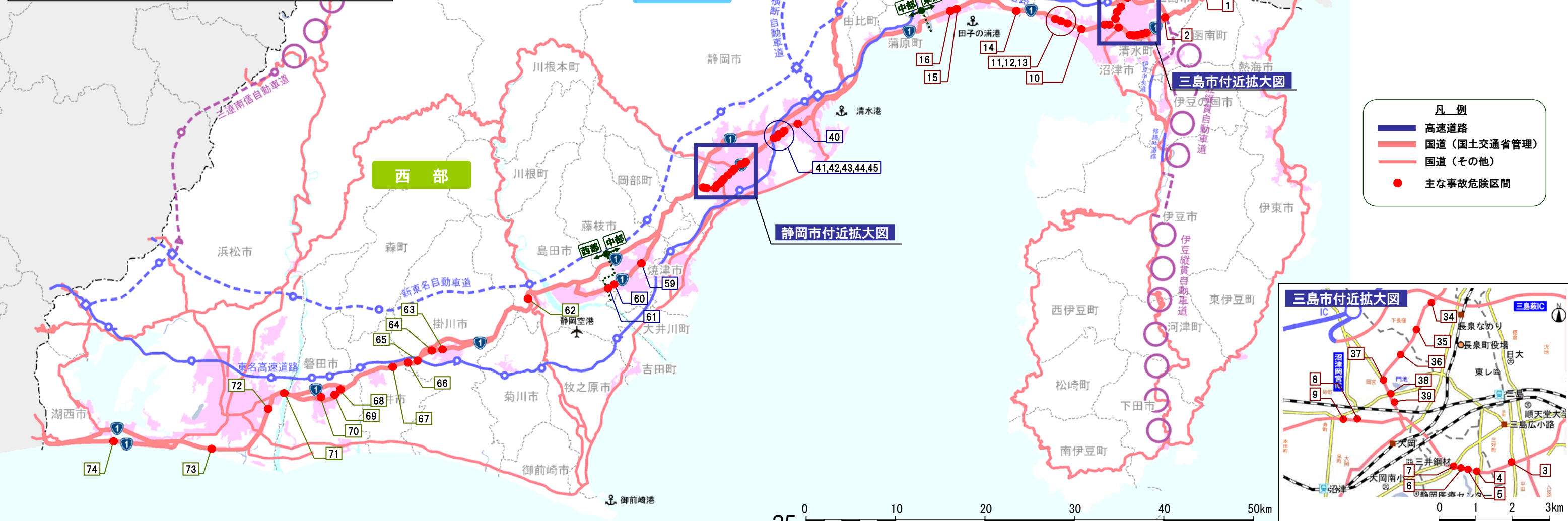


中部 (静岡国道事務所管内)

整理番号	路線番号	交差点名等
40	国道1号	洪川東交差点(清水区洪川500-1)
41	国道1号	七ツ新屋東交差点(清水区七ツ新屋445)
42	国道1号	七ツ新屋交差点(清水区七ツ新屋414)
43	国道1号	(仮)フィットハウス静岡店前交差点(清水区長崎新田117-2)
44	国道1号	楠新田東交差点(清水区楠新田228-2)
45	国道1号	楠新田交差点(清水区楠新田9)
46	国道1号	日出町交差点(葵区日出町2-1)
47	国道1号	栄町交差点(葵区御幸町11-10)
48	国道1号	紺屋町南交差点(葵区紺屋町11-17)
49	国道1号	常磐町2丁目交差点(葵区昭和町10-4)
50	国道1号	あざれあ前交差点(葵区常磐町2-13-4)
51	国道1号	川辺町交差点(葵区川辺町2-4-10)
52	国道1号	南安倍東交差点(葵区南安倍1-6-11)
53	国道1号	南安倍交差点(葵区南安倍1-9-1)
54	国道1号	駿河区丸子新田160~手越原250-12
55	国道1号	手越原交差点(駿河区手越66)
56	国道1号	佐渡交差点(駿河区手越7)
57	国道1号	北丸子1丁目交差点(駿河区丸子3-13-1~3-12-1)
58	国道1号	駿河区北丸子1-31-27~2-1-38
59	国道1号	藤枝市郡1-4-27~1-5-37
60	国道1号	藤枝市上青島235~296
61	国道1号	一里山交差点(藤枝市上青島555)

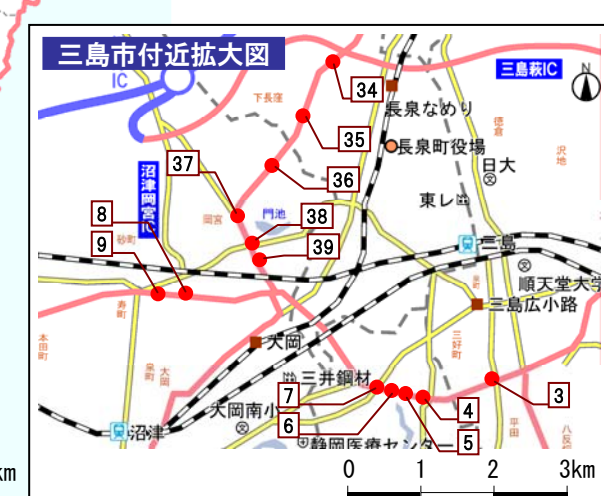
東部 (静岡国道事務所管内)

整理番号	路線番号	交差点名等
1	国道1号	三島市山中新田4737~26
2	国道1号	三島市塚原新田219-22~谷田1712
3	国道1号	三島市玉川交差点(三島市玉川242-2)
4	国道1号	清水町玉川交差点(駿東郡清水町玉川108)
5	国道1号	柿田川公園前交差点(駿東郡清水町伏見72)
6	国道1号	八幡東交差点(駿東郡清水町八幡179)
7	国道1号	八幡交差点(駿東郡清水町八幡129)
8	国道1号	共栄町交差点(沼津市共栄町3-3)
9	国道1号	東熊堂交差点(沼津市江原町11-11)
10	国道1号	市民病院前交差点(沼津市東椎路638-1)
11	国道1号	大塚交差点(沼津市大塚809-5)
12	国道1号	原団地交差点(沼津市大塚1121-1)
13	国道1号	原東町交差点(沼津市原1549)
14	国道1号	中里西交差点(富士市中里2562)
15	国道1号	蓮沼交差点(富士市川成島71)
16	国道1号	美土原交差点(富士市川成島620)
17	国道138号	仁杉交差点(御殿場市仁杉751)
18	国道138号	萩原北交差点(御殿場市萩原55)
19	国道139号	吉原5丁目交差点(富士市錦町1-1-10~浅間本町1-49)
20	国道139号	(仮)宮川町北交差点(富士市吉原5-4-11)
21	国道139号	国久保2丁目交差点(富士市浅間上町21-45)
22	国道139号	富士市伝法1177~878
23	国道139号	矢立町交差点(富士宮市矢立町932)
24	国道139号	東阿幸地交差点(富士宮市東阿幸地615)
25	国道139号	阿幸地交差点(富士宮市東阿幸地62)
26	国道139号	宮原東交差点(富士宮市万野原新田457)
27	国道139号	外神交差点(富士宮市外神2219~北山5313)
28	国道246号	くみ沢南交差点(御殿場市西田中54)
29	国道246号	川島田南交差点(御殿場市川島田1065)
30	国道246号	神場東交差点(御殿場市神場東1375)
31	国道246号	久保前交差点(御殿場市駒門135)
32	国道246号	御宿北交差点(裾野市御宿1200)
33	国道246号	御宿平山交差点(裾野市御宿328)
34	国道246号	城山交差点(駿東郡長泉町下長窪1075-9)
35	国道246号	八反田交差点(駿東郡長泉町下長窪378-6)
36	国道246号	柏葉尾交差点(沼津市大岡3575)
37	国道246号	沼津IC南交差点(沼津市岡一色470)
38	国道246号	岡一色交差点(沼津市岡一色380)
39	国道246号	門池小入口交差点(沼津市岡一色197)



凡例

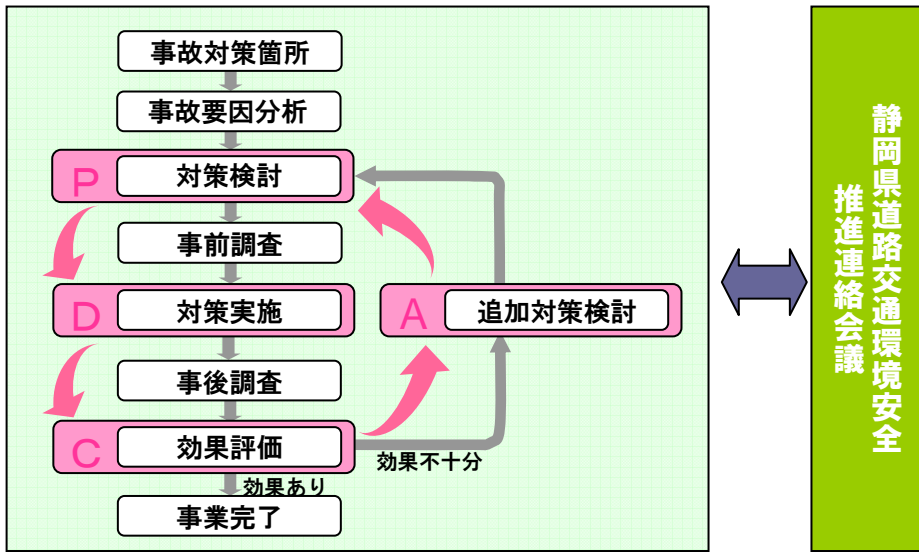
- 高速道路 (Blue line)
- 国道(国土交通省管理) (Red line)
- 国道(その他) (Pink line)
- 主な事故危険区間 (Red dot)



5. 事故対策の取り組み方針

■ 対策の進め方

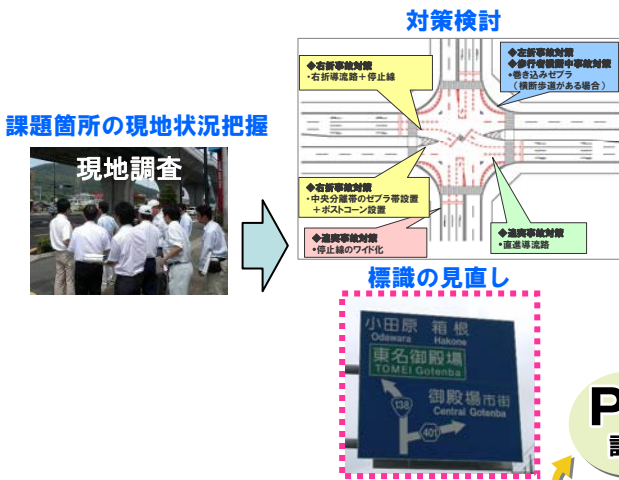
個別の選定区間に対する事故対策の取り組みは、事故データや地域住民の声、現地調査などにより事故要因を明らかにしたうえで、対策検討(P)～対策実施(D)～効果評価(C)～追加対策検討(A)の流れに沿って進めます。単に選定区間の対策を実施するだけでなく、継続的に事故発生状況をモニタリングし、必要に応じて迅速に改善を加えることで効率的に成果を上げていくことを目指します。



■ PDCAサイクル実施事例

PLAN (問題の把握と対策立案)

- ・課題箇所の交通事故特性、事故発生要因の把握
- ・有効な交通事故対策の立案



Do (対策の実施)

- ・課題箇所への対策実施

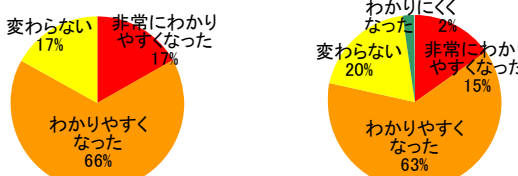
● 交通事故対策の実施



ACTION (反映および改善の検討)

- ・類似箇所への対策実施の水平展開
- ・対策実施によって生じた新たな課題への対応

● 対策効果の評価 (事故発生件数やアンケートなど)



● 追加調査

ビデオ調査状況



右折車両軌跡調査



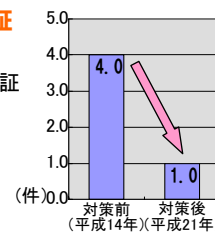
CHECK 評価

CHECK (効果の検証)

- ・対策前後の交通挙動の比較による対策効果の検証
- ・交通事故データを用いた対策効果の検証

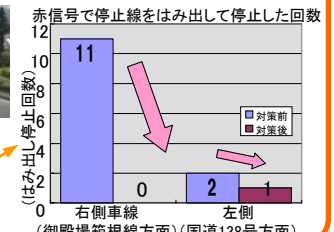
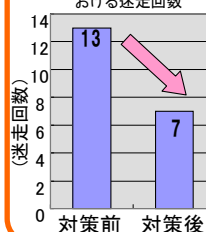
● 事故発生件数からの検証

対策前後における死傷事故発生件数を検証



● 交通挙動からの検証

下り方面交差点流入部における迷走回数



6. 整備効果事例

国道1号 中田島交差点（浜松市南区中田島町）

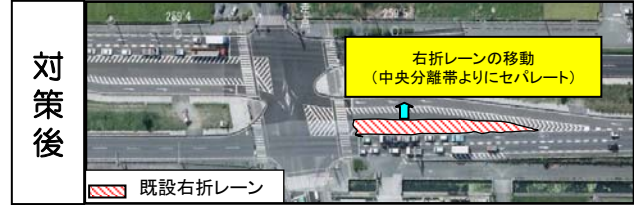
■対策前の課題

- ・中央分離帯の幅員が広く右折車から直進車の視認性が悪いため、右折時事故が発生。
- ・本線上まで滞留した右折待ち車両への追突事故も多い。

■事故対策

- ・右折車両が対向右折車と正対するように右折レーンを移動させることで視認性を向上。
- ・併せて右折レーンを延伸し、右折待ち車両の本線上への滞留を防止。
- ・信号に対する視認性の向上。（信号のLED化・信号の増設）

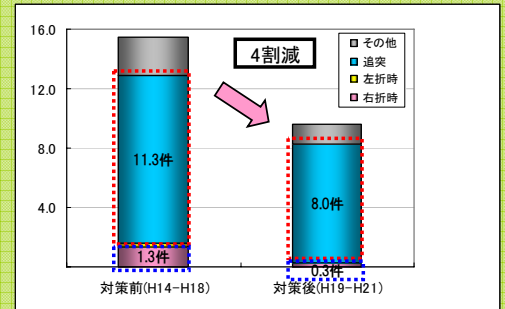
【位置図】



整備効果

○右折レーンセパレートにより
事故件数が**4割減**

- ・右折事故は**8割減**（1.3件→0.3件）
- ・追突事故は**3割減**（11.3件→8.0件）



※対策前：H14～H18の事故件数の平均値
対策後：H19～H21の事故件数の平均値

国道1号 一本松西交差点（沼津市一本松）

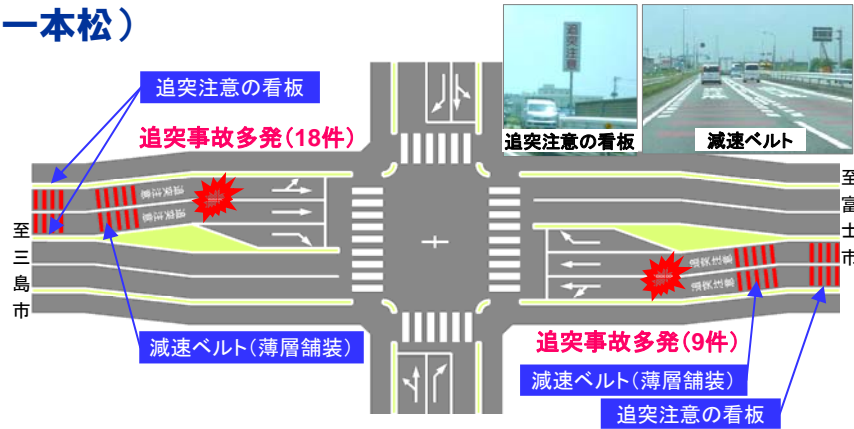
■対策前の課題

- ・平成17年～平成21年の5年間で追突による死傷事故が27件発生。
- ・交差点への進入速度が速い。

■事故対策

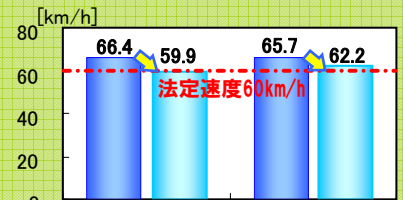
- ・路面に小突起を設けて振動と音を発生する【減速ベルト（薄層舗装）】により運転者の注意喚起と減速を促す。
- ・路側等に【追突注意】看板（法定外看板）を設置し、注意喚起を促す。

【位置図】



整備効果

○【減速ベルト（薄層舗装）】と【追突注意の看板】の設置により、交差点進入速度が約66km/hから約60km/hに**低下**



8時～11時までの3時間を対象に調査
・事前調査：平成21年10月26日（月）
・事後調査：平成22年10月29日（金）

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所
浜松河川国道事務所
沼津河川国道事務所
静岡県警察本部

〒420-0054 静岡市葵区南安倍2丁目8-1
TEL 054-250-8908（交通対策課） FAX 054-250-8911
〒430-0811 浜松市中区名塚町266
TEL 053-466-0151（道路管理第二課） FAX 053-466-0126
〒410-8567 沼津市下香貫外原3244-2
TEL 055-934-2010（調査第二課） FAX 055-934-2015
〒420-8610 静岡市葵区追手町9番6号
TEL 054-271-0110（交通規制課）

「愛知県事故ゼロプラン」

(事故危険区間重点解消作戦)

～事後対策から予防対策へ～

国土交通省 中部地方整備局
名古屋国道事務所

愛知県警察

01 プランの概要

交通事故による死者ならびに交通事故撲滅のため、安全で円滑な交通の確保を目指し、“予防対策”を導入します

■計画の概要

『事故ゼロプラン』とは、交通事故対策への投資効果を最大限高めるため、交通安全分野において全国的に展開していくものです。

交通事故が起こりやすい危険な箇所を「事故危険区間」として選定し、安全で円滑な交通の確保や交通事故の撲滅に取り組むものです。

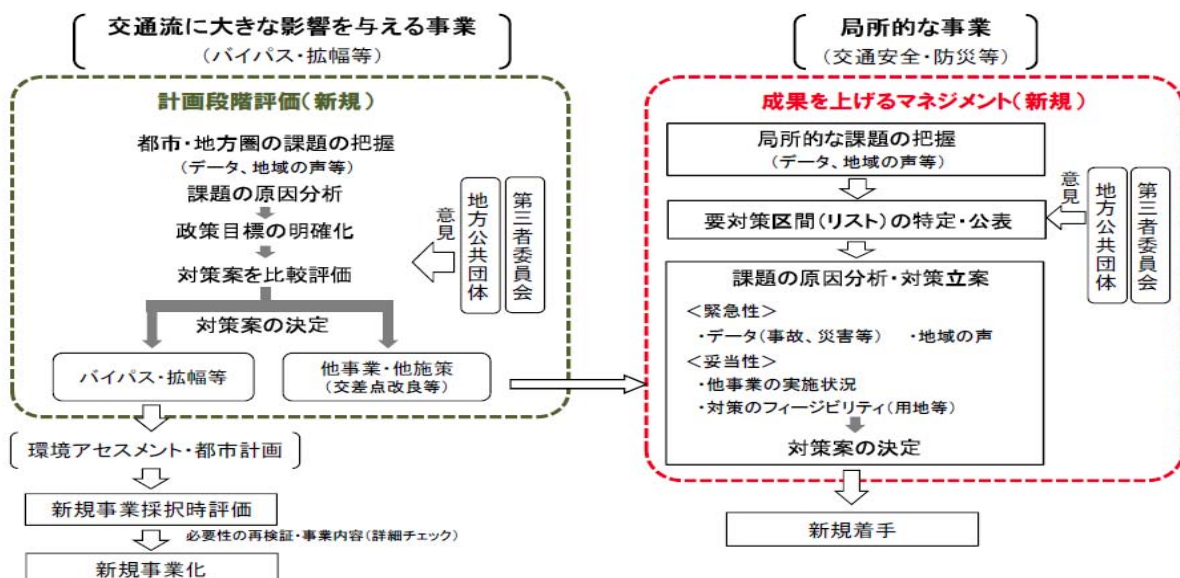
これまでの交通安全事業の取り組みでは、死亡事故が発生した箇所を中心に事業を行う“事後対策”を行ってきました。しかし、新たな死亡事故の多くが、対策箇所と異なる箇所で発生しています。

このため、『愛知県事故ゼロプラン』は、愛知県内の直轄国道において、過去の死亡事故箇所にとどまらず、事故の特性、道路の性格、関係機関や道路利用者に対するアンケート結果を通して事故危険箇所を選定し、“予防対策”の「選択と集中」により、効果的な対策を進めます。

参考 「政策目標評価型事業評価」の概要

国土交通省では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るための新たな取り組みとして、「政策目標評価型事業評価」を導入することとしました。

この取り組みは、事業の必要性等が検証可能となるよう評価の手法を改善し、バイパス・拡幅事業等に計画段階評価を導入するとともに、交通安全事業等の局所的な事業に対し、データ等に基づく「成果を上げるマネジメント」の取り組みを導入するものです。



政策目標評価型事業評価の導入に係る道路事業における取り組みについて(平成22年8月 国土交通省記者発表資料)より作成

02 愛知県の事故特性

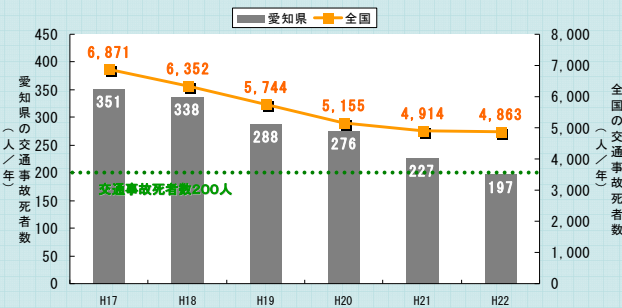
交通安全に関する愛知県を取り巻く情勢と課題

愛知県内の交通事故は、重点的に対策を行ってきた結果減少してきており、H22の死者数は、全国6位となっています。

追突事故や右折時事故が多く、全国平均の3倍以上となっています。直轄国道の事故の特性としては、大型車両が多いため、死亡事故に至る確率が高い状況にあります。

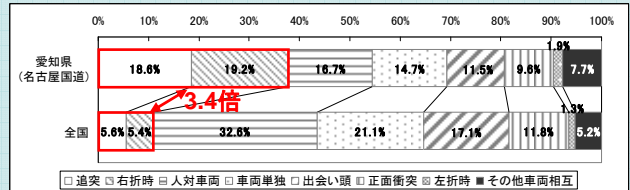
愛知県の交通事故の特性

■交通事故死者数の推移



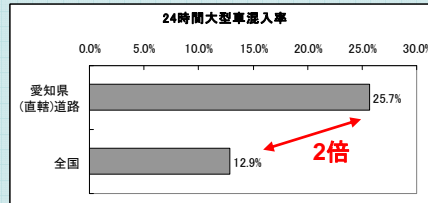
出典: 愛知県警資料

■事故類型別死亡事故の発生割合



出典: H17~20交通事故総合データベース

■大型車混入率

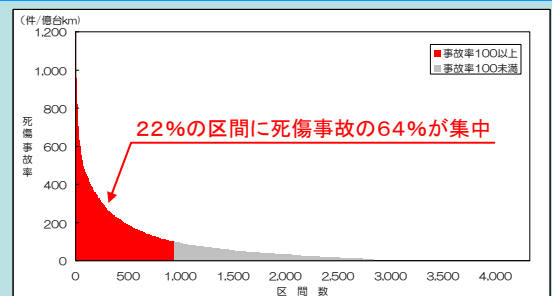


出典: H17道路交通センサス

「選択と集中」

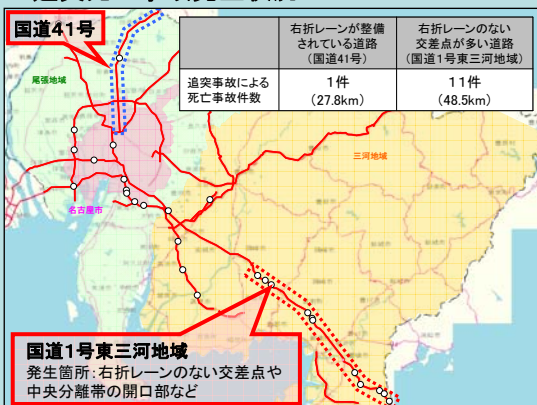
愛知県内の直轄国道上での交通事故の発生は22%の区間に64%の事故が発生しています。

特に「追突事故」は、1号の東三河地域、「右折事故」は名古屋市付近の高速道路下交差点に集中して発生するなどの傾向がみられます。



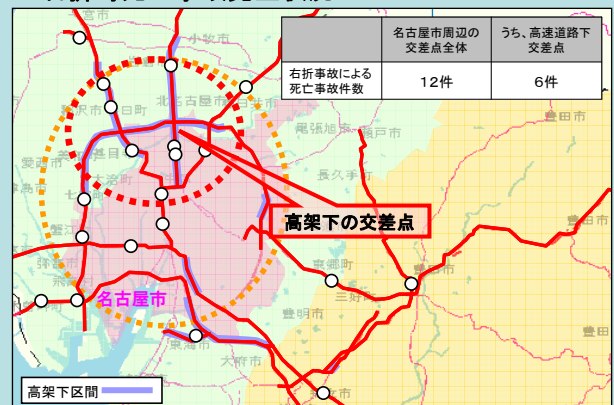
出典: H17~20交通事故総合データベース

■追突死亡事故発生状況



出典: H17~20交通事故総合データベース

■右折時死亡事故発生状況



出典: H17~20交通事故総合データベース

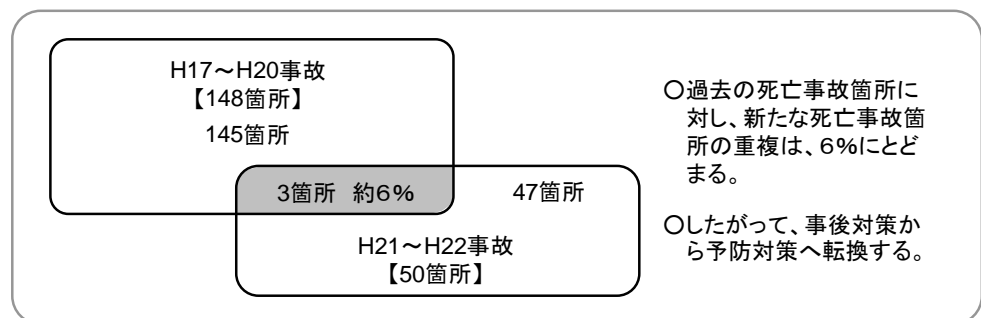
事故原因の分析や利用者の意見を基に
的確な対策を“選択的かつ集中的”に実施

03 箇所の抽出の考え方

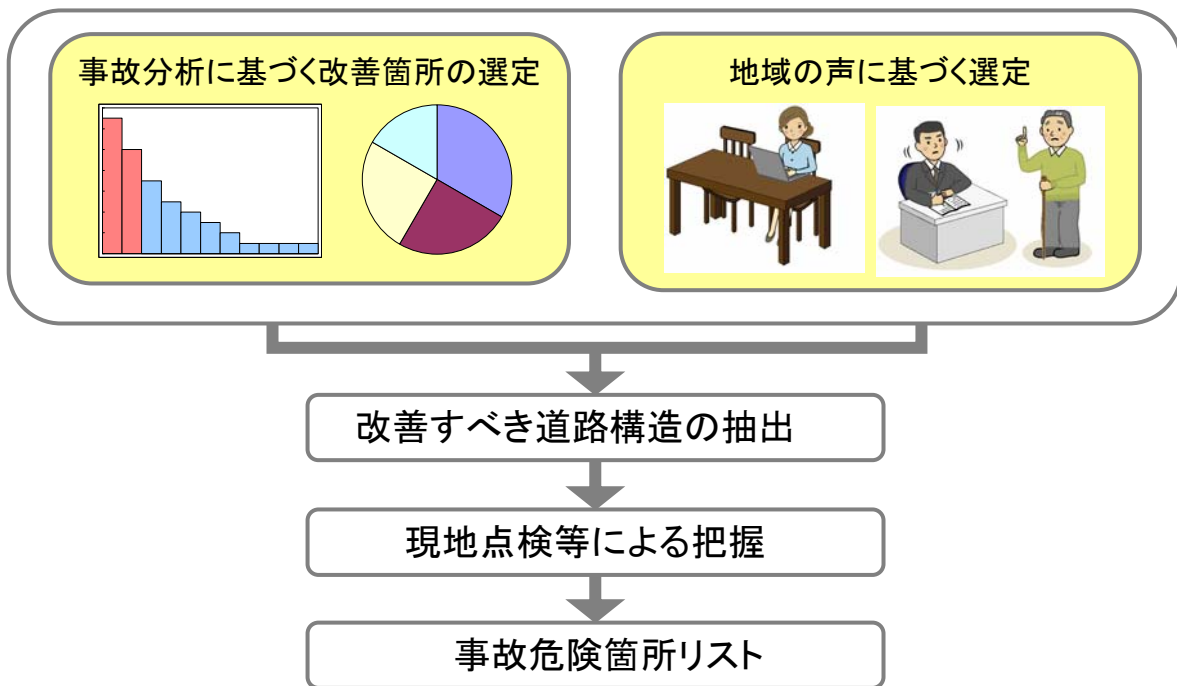
事故データに基づく分析結果と皆さまの声を合わせ、予防対策箇所を選定します

交通事故による死亡の発生確率は低いことから、過去死亡事故が発生した箇所で、再度死亡事故が発生することは希になっています。

このため、本プランは、主に「過去の死亡事故発生箇所から対策箇所を選定する事後対策」の考えから、「過去に発生した死亡事故の要因から対策箇所を選定する予防対策」の考え方へ転換し、一層科学的な分析と対策事業の「選択と集中」により、高い事業効果を目指します。



愛知県道路交通環境安全推進連絡会議



事故分析に基づく選定

事故発生状況や現地点検を基に
改善箇所を選定

平成17年以降に発生した死亡事故の発生状況や現地点検等を基に事故要因を分析し、改善箇所を選定します。

地域の声に基づく選定

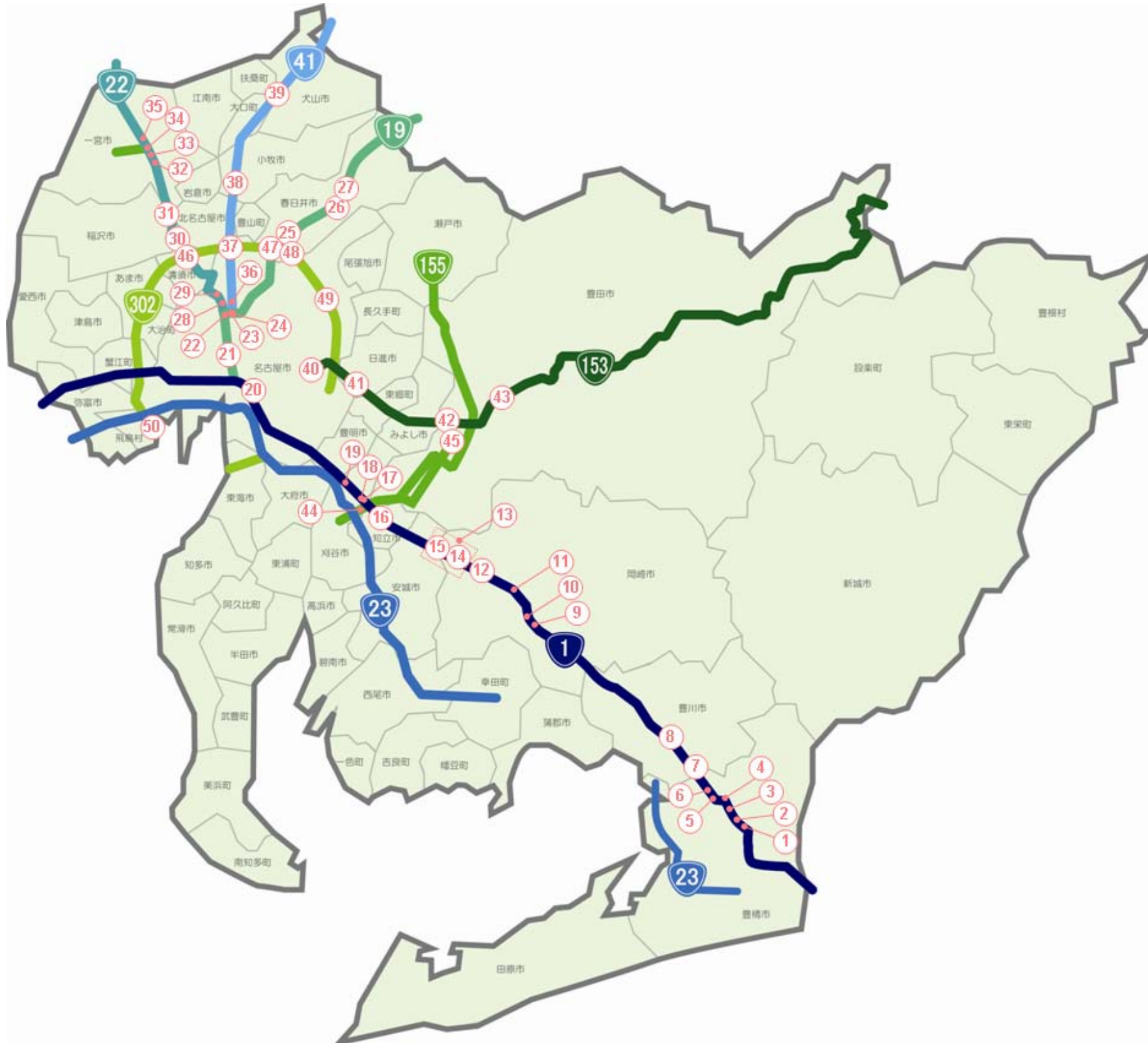
自治体・道路利用者アンケートを基に
改善箇所を選定

関連自治体及び道路利用者アンケートを行い、23市町村、1,973の愛知県在住者等からの意見を基に、改善箇所を選定します。

04 愛知県における事故危険区間

愛知県において取り組む代表区間(50箇所)

愛知県事故ゼロプランの事故危険区間(915箇所)のうち、代表区間として50箇所を記載しています。



■事故危険区間リスト: 50箇所

NO	交/単	路線名	交差点/地点名
1	交差点	国道1号	岩西歩道橋南交差点
2	交差点	国道1号	殿田橋交差点
3	交差点	国道1号	円六橋交差点
4	交差点	国道1号	東八町交差点
5	交差点	国道1号	西八町交差点
6	交差点	国道1号	瀬上交差点
7	交差点	国道1号	宮下交差点
8	交差点	国道1号	穴田交差点
9	交差点	国道1号	美合新町北交差点
10	交差点	国道1号	ほたる橋南交差点
11	交差点	国道1号	岡崎インター西交差点
12	交差点	国道1号	八帖交差点
13	単路	国道1号	岡崎市矢作町～安城市尾崎町
14	交差点	国道1号	暮戸交差点
15	交差点	国道1号	宇頭町交差点
16	交差点	国道1号	宮腰東交差点
17	交差点	国道1号	逢妻大橋西交差点
18	交差点	国道1号	逢妻町交差点
19	交差点	国道1号	今川町交差点
20	交差点	国道1号	松田橋南交差点
21	交差点	国道19号	新尾頭交差点
22	交差点	国道19号	日銀前交差点
23	交差点	国道19号	桜通大津交差点
24	交差点	国道19号	高岳交差点
25	交差点	国道19号	若草通1丁目交差点
26	交差点	国道19号	春日井インター西交差点
27	交差点	国道19号	春日井インター東交差点
28	交差点	国道22号	新御園橋交差点
29	交差点	国道22号	浅間町交差点
30	交差点	国道22号	下之郷交差点
31	交差点	国道22号	五日市場交差点
32	交差点	国道22号	下浅野交差点
33	交差点	国道22号	浅野交差点
34	交差点	国道22号	富士三丁目交差点
35	交差点	国道22号	両郷町交差点
36	交差点	国道41号	東片端交差点
37	交差点	国道41号	大我麻町交差点
38	交差点	国道41号	花塚橋南交差点
39	交差点	国道41号	南新田交差点
40	交差点	国道153号	植田西交差点
41	交差点	国道153号	赤池2丁目北交差点
42	交差点	国道153号	本新町五丁目交差点
43	交差点	国道153号	平戸橋西交差点
44	交差点	国道155号	西町交差点
45	交差点	国道155号 (豊田南BP)	豊田市美山町3交差点
46	交差点	国道302号	朝日交差点
47	交差点	国道302号	勝川町四丁目交差点
48	交差点	国道302号	松河戸町北交差点
49	交差点	国道302号	引山交差点
50	交差点	国道302号	木場1丁目交差点

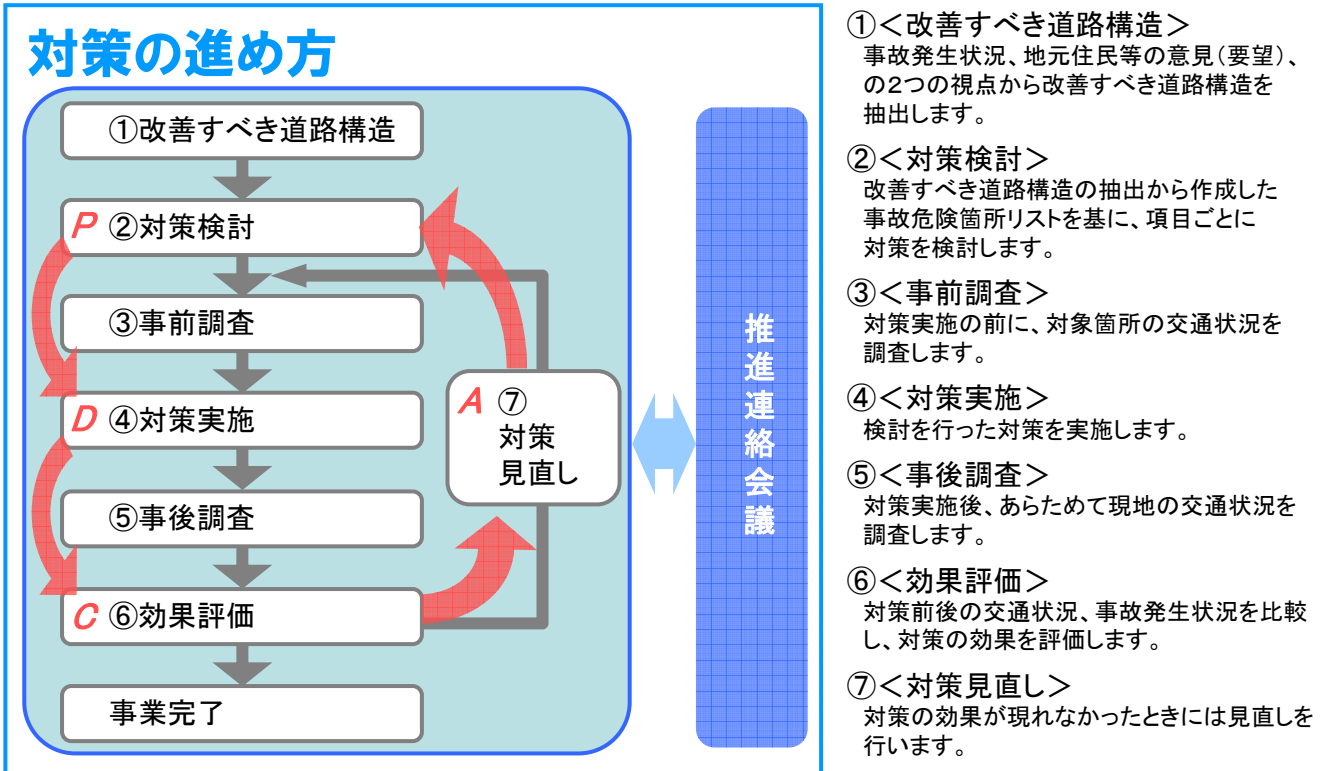
※番号は優先順位を示すものではありません。
 ※No45の交差点は交差点名称がないため地番で表示。

05 取り組み方針

現地状況に即した対策を実施し、継続的に改善していきます

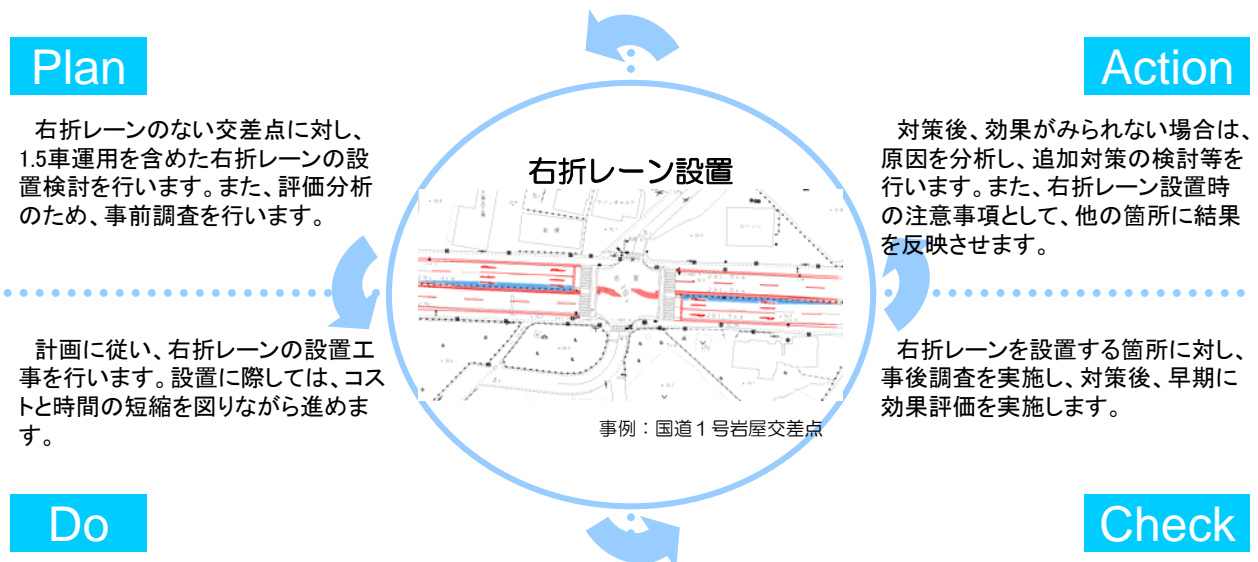
■対策の進め方

事故発生状況の分析結果と地元の声をもとに抽出した“改善すべき道路構造”に対し、重点対策メニューを検討します。対策実施箇所に対して、事前・事後調査に基づく評価を行い、重点対策メニューの見直しを行う等、継続的に改善を行います。(PDCAサイクルの実施)



■代表的な事故対策

代表的な事故対策の一部を以下に紹介します。



06 整備効果事例

事故削減に向けた取り組みを広げていきます

■トピック① 右折レーンを設置し、追突・右折時事故が0件に！

(国道1号籠田交差点)

国道1号籠田交差点は、平成16～19年までに死傷事故が9件発生し、全国的に見ても事故が多く発生している箇所でした。右折レーンがなく、右折待ち車両への後続車両の追突や、無理な右折にとまなう右折時事故が多発していました。

そのため、右折レーンを設置し、右折車両と直進車両の分離を図り、追突や右折時事故が0件に減少しました。

【位置図】



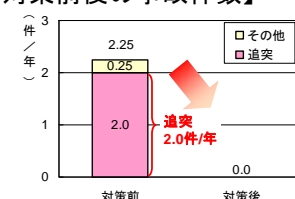
【事故発生状況】

右折レーンがないため、右折待ち車両への追突や、無理な右折にとまなう右折時事故が発生



右折レーンの設置

【対策前後の事故件数】



追突・右折時事故が0件に減少

対策内容

右折レーンの設置により、右折車と直進車の分離を図り、事故を抑制

■トピック② 右折レーンのシフトにより、右折時事故が5割減少！

(国道153号三好前田交差点)

国道153号三好前田交差点は、平成15～18年までに死傷事故が45件発生し、全国的に見ても事故が多く発生している箇所でした。右左折交通が多く、中央分離帯の幅が広いため、右折車から直進車の視認性が悪く、右折時事故が多発していました。

そのため、右折レーンをシフトし、右折時事故の抑制を図り、右折時事故が5割減少しました。

【位置図】



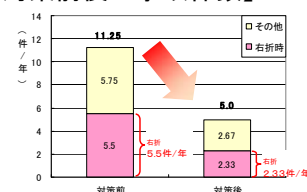
【事故発生状況】

中央分離帯の幅員が広く右折車から直進車の視認性が悪いため、右折時事故が発生



右折レーンのシフト

【対策前後の事故件数】



右折時の事故が約5割減少

対策内容

右折レーンを対向車線側にシフトさせることにより、右折車と直進車の視認性を良くし、事故を抑制

<お問い合わせ先>

国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所

〒467-0833 愛知県名古屋市瑞穂区鍵田町2-30

TEL 052-853-7327(交通対策課) FAX 052-853-7334

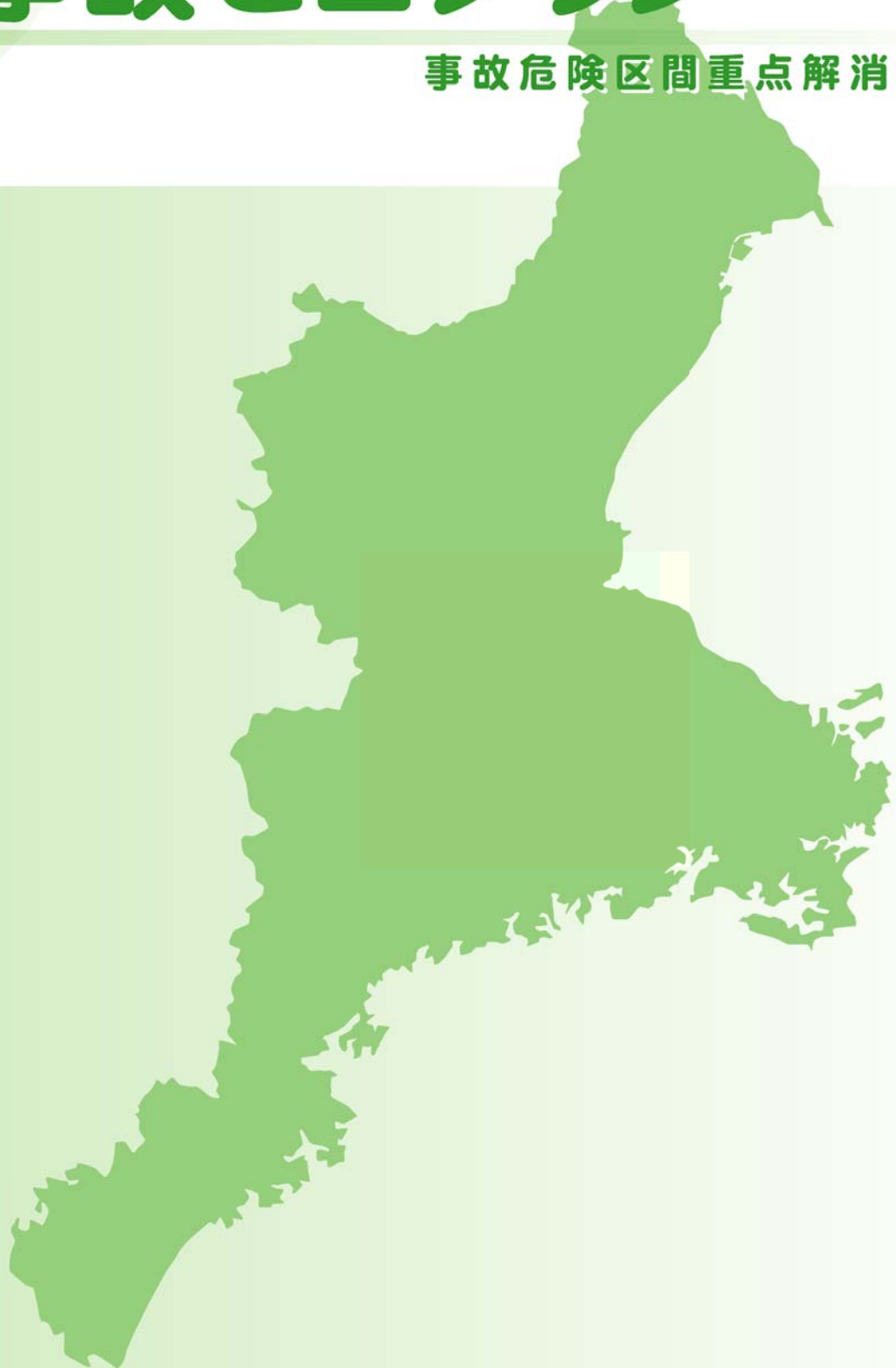
愛知県警察本部

〒460-8502 愛知県名古屋市中区三の丸2-1-1

TEL 052-951-1611(交通規制課)

三重県 事故ゼロプラン

事故危険区間重点解消作戦



1

三重県事故ゼロプランの概要

三重県の交通事故の撲滅に向けた新たな取り組み

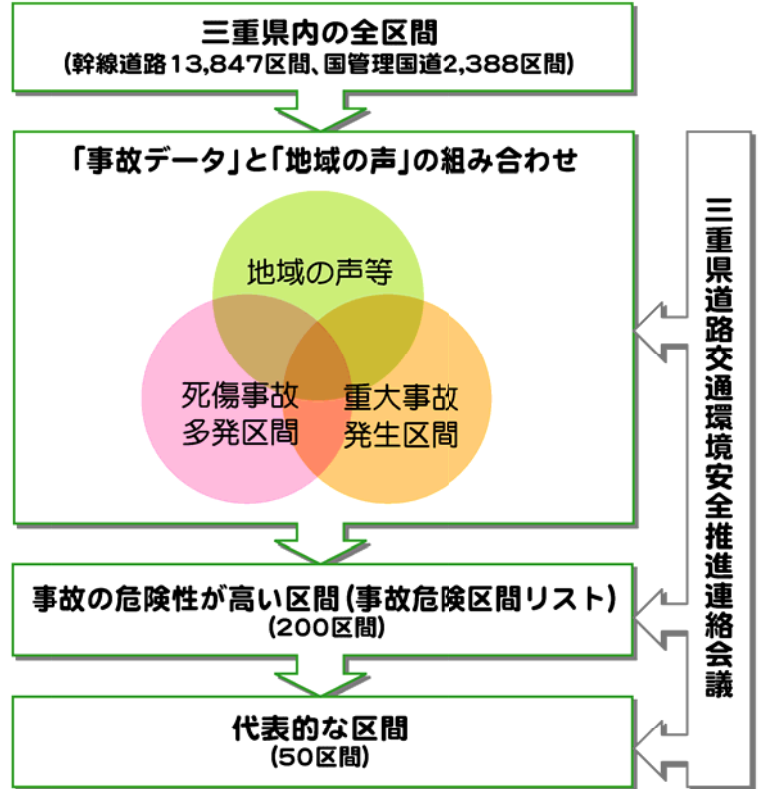
計画の概要

国土交通省および三重県警察では、交通事故対策の新たな取り組みとして、「三重県事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」をスタートさせます。

本プランでは、利用実感にあう取り組みを進めるため、事故データと地域の声を組み合わせ、事故の危険性が高い区間(事故危険区間リスト)を200区間を抽出しました。

そしてその中で優先的に取り組んでいく代表的な区間(50区間)を抽出しました。

抽出した区間に対し、今後、事故対策を着実に実施していくことで、三重県の事故ゼロを目指していきます。

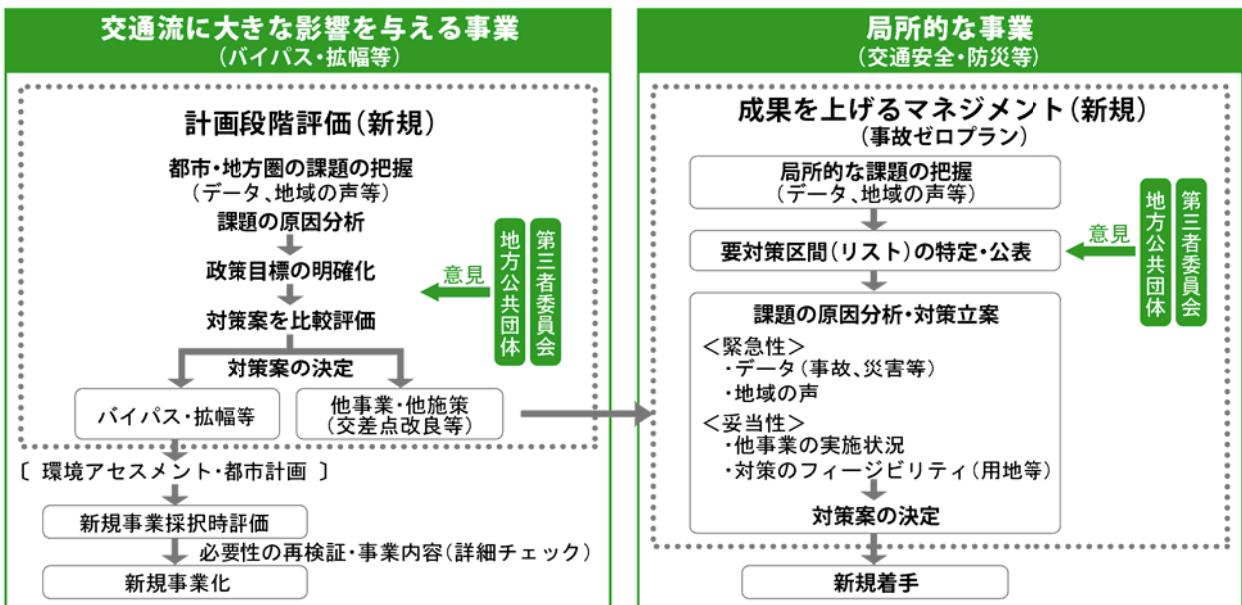


三重県道路交通環境安全推進連絡会議

参考 「政策目標評価型事業評価」の概要

国土交通省では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るための新たな取り組みとして、「政策目標評価型事業評価」を導入することとしました。

事故ゼロプランは、この「成果を上げるマネジメント」を交通安全分野で進めていくための計画です。



政策目標評価型事業評価の導入に係る道路事業における取り組みについて(平成22年8月国土交通省記者発表資料)より作成

2

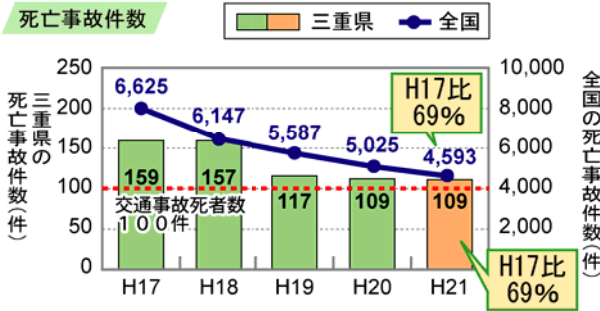
三重県の事故の状況

三重県事故ゼロプランの背景

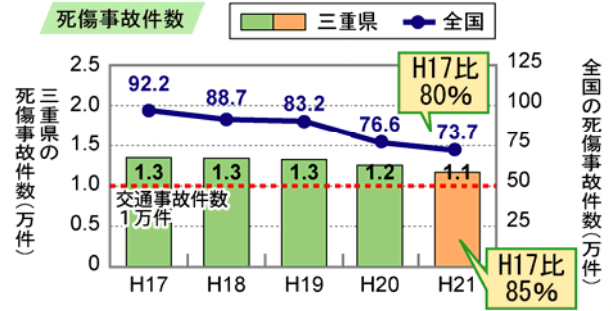
三重県内では、年間100名を超える方々が交通事故の犠牲になっており、人口当たり死亡事故件数は全国ワースト12位です。県内の事故は、幹線道路に集中する傾向があることから幹線道路の交通事故対策を進めていく必要があります。

■三重県における交通事故の推移

死亡事故件数は減少傾向にあるが、未だ死者数100人以上発生



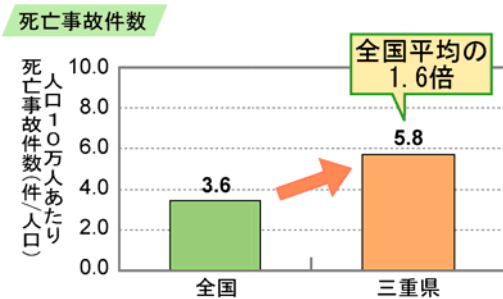
死傷事故件数は全国よりも減少幅が小さい



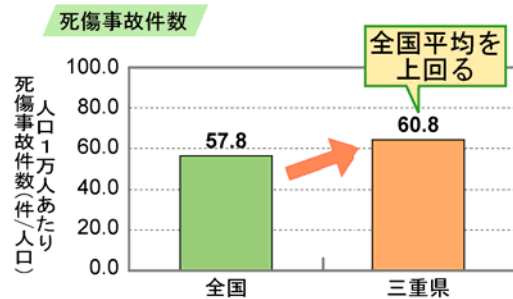
データ: H17~H21 交通統計 ((財) 交通事故総合分析C)

■人口あたり交通事故発生状況

<死亡事故件数>
人口10万人当たり約5.8人(全国ワースト12位)



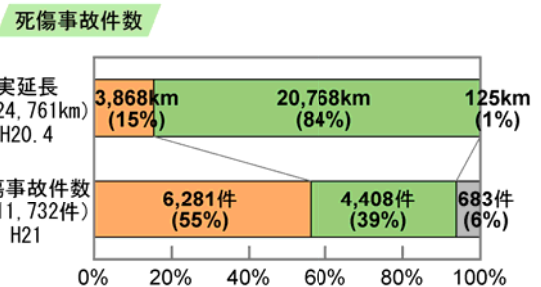
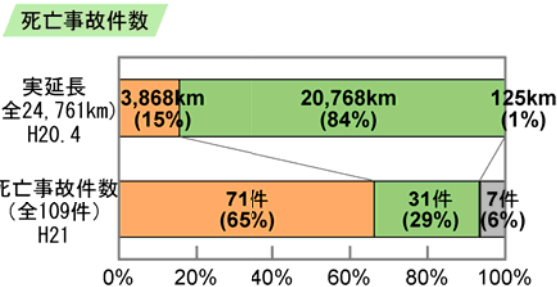
<死傷事故件数>
人口1万人当たり約61件(全国ワースト18位)



データ: H21 交通統計 ((財) 交通事故総合分析C)

■幹線道路への事故集中状況

三重県では、道路延長では2割に満たない幹線道路上で死亡事故の65%、死傷事故の55%が集中して発生



※1: 国道および主要地方道、県道をいう、※2: 高速道路および駐車場等路外の場所で発生したもの
データ: H21 交通事故統計年報 ((財) 交通事故総合分析C)、道路統計年報2009 (全国道路利用者会議)

幹線道路の交通事故対策を進めていきます

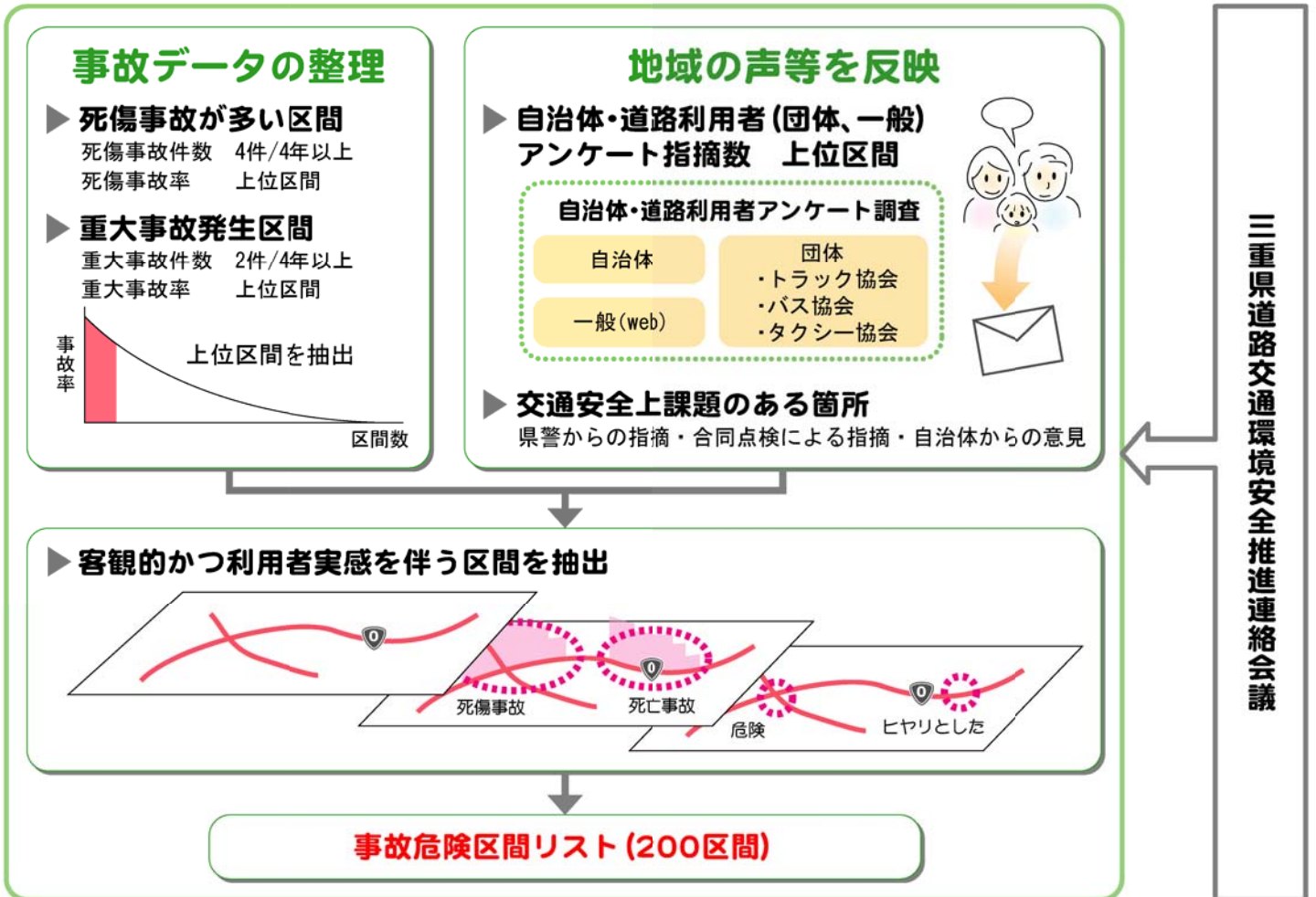
3

幹線道路の事故危険区間リスト

客観的で利用者実感の高い区間を抽出

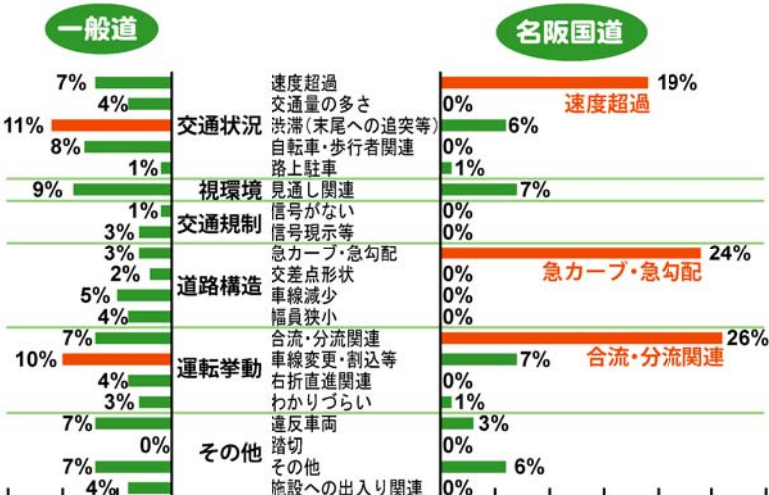
三重県内の幹線道路のうち、国が管理する国道2, 388区間から事故の危険性が高い区間(事故危険区間リスト)を200区間抽出しました※³。

※3:平成22年度は国が管理する国道を対象に取り組みを試行していきます。



自治体・道路利用者アンケート結果

道路の種類に応じた意見が挙げられています。



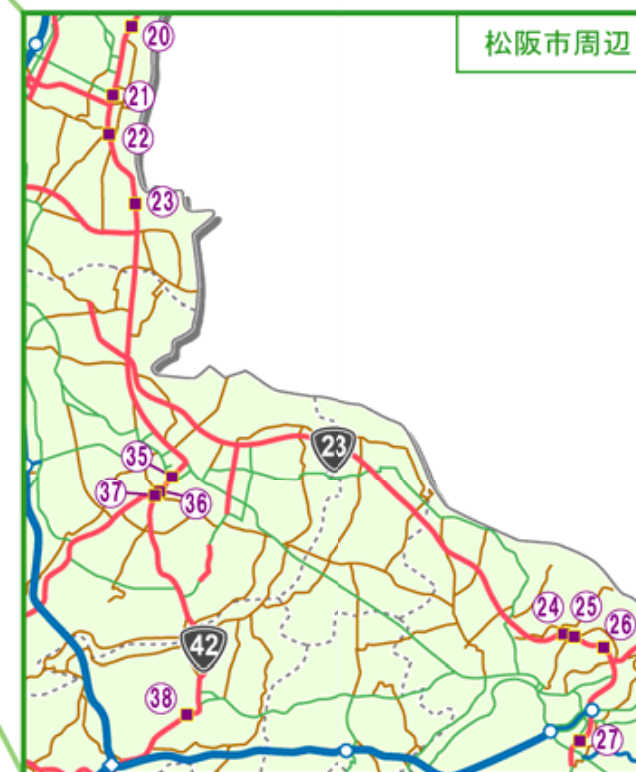
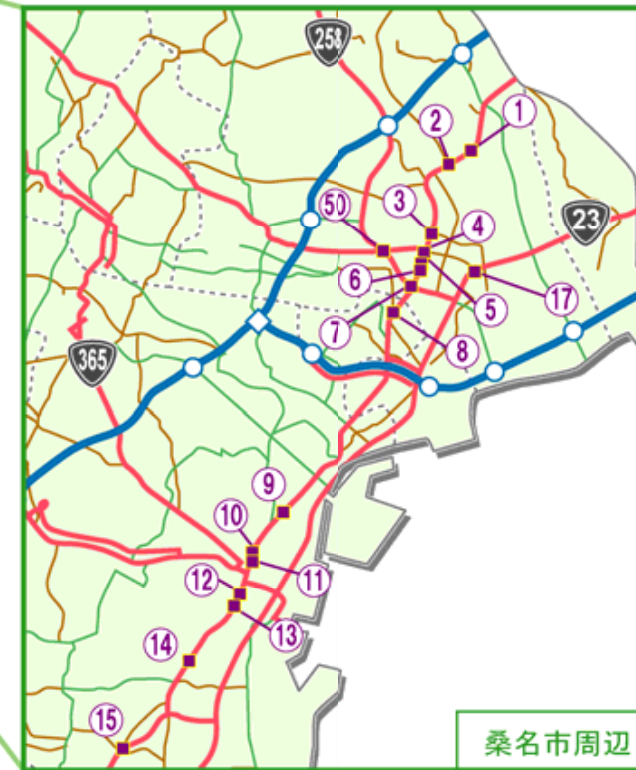
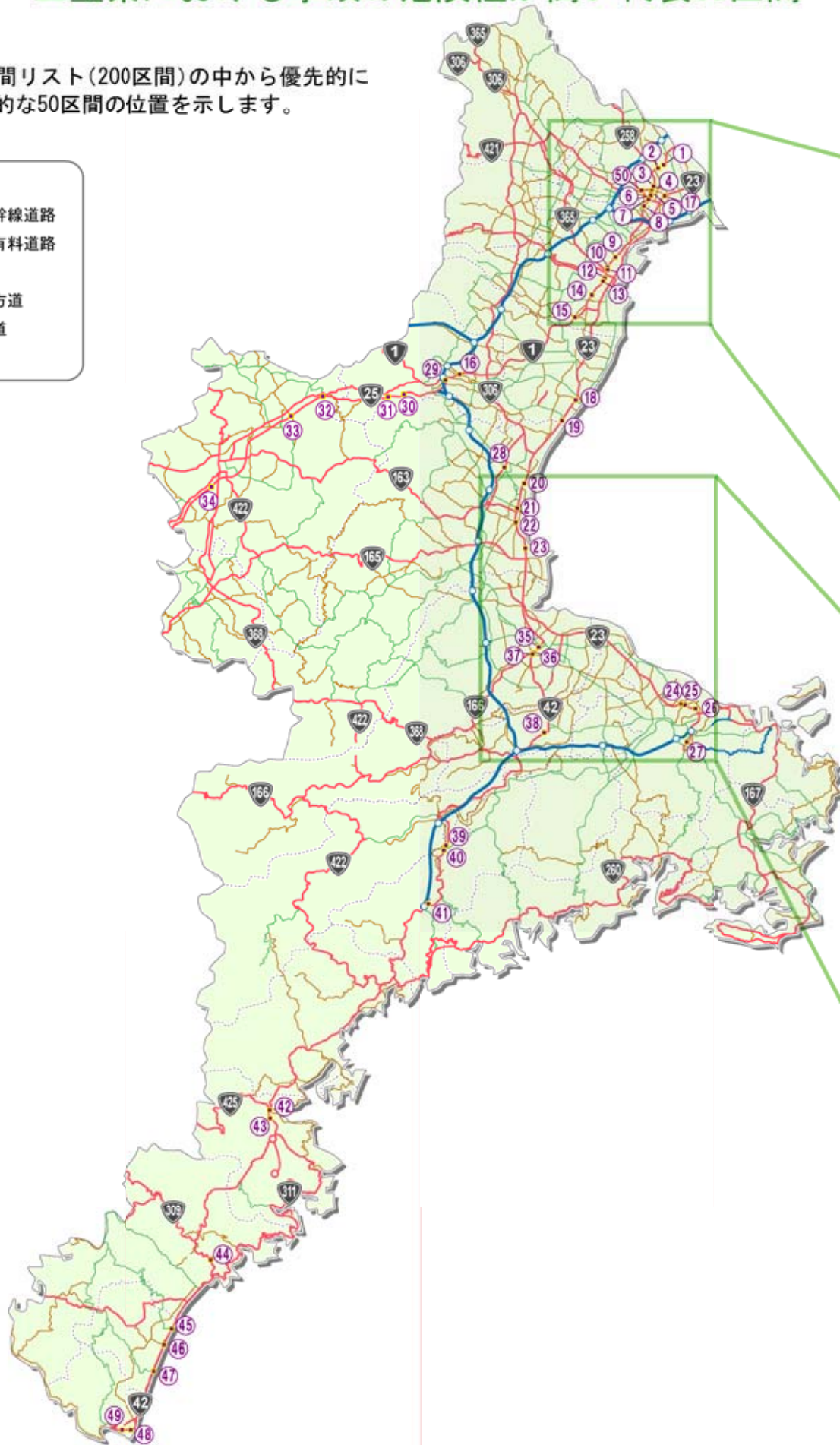
4

代表的な区間の位置図

三重県における事故の危険性が高い代表50区間

事故危険区間リスト(200区間)の中から優先的に
取り組む代表的な50区間の位置を示します。

- 凡例
- 高規格幹線道路
 - その他有料道路
 - 国道
 - 主要地方道
 - 一般県道
 - 行政界



代表的な区間(50区間)

番号	路線名	対象区間	交差点名
①	国道1号	桑名市長島町十日外面	伊勢大橋東詰交差点
②	国道1号	桑名市大字上之輪新田	中堤入口交差点
③	国道1号	桑名市中央町3丁目	中央町交差点
④	国道1号	桑名市相川町	相川町交差点
⑤	国道1号	桑名市東矢田町	矢田町交差点
⑥	国道1号	桑名市大字大福	八重垣町交差点
⑦	国道1号	桑名市大字安永	安永交差点
⑧	国道1号	三重郡朝日町大字綱生	町屋橋南詰交差点
⑨	国道1号	四日市市富士町	富士町交差点
⑩	国道1号	四日市市川原町	川原町交差点
⑪	国道1号	四日市市滝川町	滝川町交差点
⑫	国道1号	四日市市諏訪町	諏訪町北交差点
⑬	国道1号	四日市市諏訪栄町	諏訪栄町交差点
⑭	国道1号	四日市市日永東1丁目 ~四日市市日永4丁目	-
⑮	国道1号	四日市市小古曾東3丁目	内部橋北詰交差点
⑯	国道1号	亀山市野村2丁目	無名
⑰	国道23号	桑名市大字小貝須	地藏交差点
⑱	国道23号	鈴鹿市白子3丁目	白子3交差点
⑲	国道23号	鈴鹿市磯山2丁目	磯山駅前交差点
⑳	国道23号	津市栗真町屋町 ~津市江戸橋1丁目	-
㉑	国道23号	津市大門	三重会館前交差点
㉒	国道23号	津市大倉	大倉交差点
㉓	国道23号	津市高茶屋小森町	高茶屋小森交差点
㉔	国道23号	伊勢市御園町王中島	王中島交差点
㉕	国道23号	伊勢市小木町	小木町1交差点
㉖	国道23号	伊勢市田尻町	田尻町交差点
㉗	国道23号	伊勢市中村町	中村町交差点
㉘	国道23号	津市一身田大古曾	無名
㉙	国道25号	亀山IC	-
㉚	国道25号	越川大橋~関TN	-
㉛	国道25号	向井IC	-
㉜	国道25号	伊賀IC	-
㉝	国道25号	下柘植IC	-
㉞	国道25号	大内IC	-
㉟	国道42号	松阪市愛宕町1丁目	愛宕町西交差点
㊱	国道42号	松阪市大黒田町	大黒田町交差点
㊲	国道42号	松阪市大黒田町	大黒田町西交差点
㊳	国道42号	多気郡多気町平谷~ 多気郡多気町前村	-
㊴	国道42号	度会郡大紀町滝原	-
㊵	国道42号	度会郡大紀町滝原	出谷交差点
㊶	国道42号	度会郡大紀町崎	崎交差点
㊷	国道42号	尾鷲市末広町	倉ノ谷交差点
㊸	国道42号	尾鷲市古戸町	上野町交差点
㊹	国道42号	熊野市大泊町	-
㊺	国道42号	南牟婁郡御浜町大字志原	神志山交差点
㊻	国道42号	南牟婁郡御浜町大字下市木	-
㊼	国道42号	南牟婁郡紀宝町井田 ~南牟婁郡紀宝町輪殿	-
㊽	国道42号	南牟婁郡紀宝町輪殿	-
㊾	国道42号	南牟婁郡紀宝町輪殿 ~南牟婁郡紀宝町成川	-
㊿	国道258号	桑名市大字上野	上野交差点

<番号は優先順位を示すものではありません>

5

事故対策の取り組み

マネジメントサイクルにより、継続的に改善

抽出された各区分については、PDCAによるマネジメントサイクルに則り、効果的な事故対策を継続的に改善していきます。過去の事故データや現場の状況等から事故要因を特定し、要因に応じた効果的な対策を実施します。対策後に、事故件数の減少など効果を評価し、必要に応じ、追加対策の検討・実施を経て、悲惨な交通事故の撲滅を目指します。

P 計画策定

事故要因を分析し、効果的な事故対策を立案します。

D 対策実施

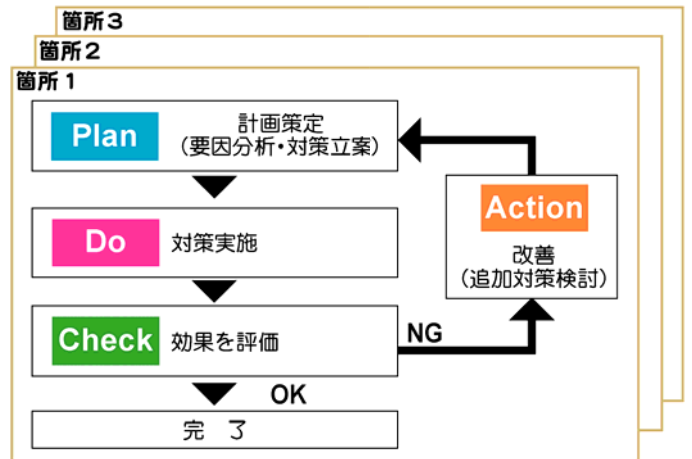
計画された事故対策を実施します。

C 効果検証

対策による効果を検証し、評価します。

A 改善

対策の効果が不十分な場合、事故要因を分析し、追加対策の検討を行います。



マネジメントサイクルによるPDCAの実施事例 <紀宝町成川地区>

Plan : 計画策定(要因分析・対策立案)

・「正面衝突」「追突事故」が多い

対象事故 類型	対策前 年平均件数 H8～H11 (件/年)	実施対策工
正面衝突	0.50	減速路面標示の設置
		高輝度区画線の設置
追突	0.75	減速路面標示の設置
		排水性舗装の設置

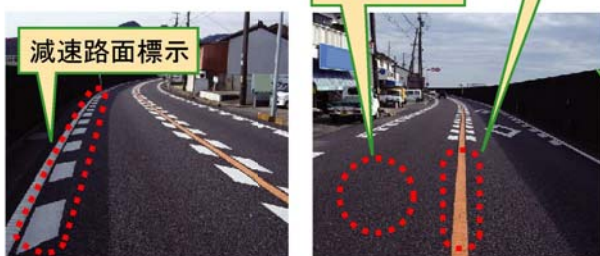
Action : 改善(追加対策検討)

・「追突注意」の注意喚起看板の設置



Do : 対策実施

・ 減速路面標示の設置
・ 高輝度区画線の設置
・ 排水性舗装

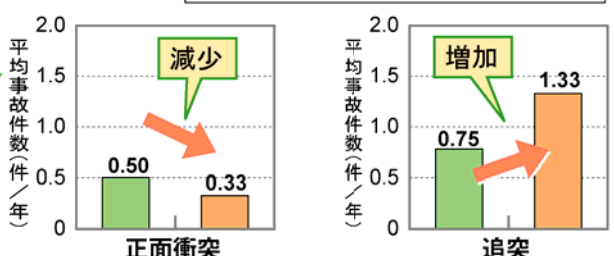


Check : 対策検証

・ 正面衝突は減少したが、追突事故は増加

事故発生件数

- 対策前年平均件数H8～H11(件/年)
- 対策後年平均件数H17～H19(件/年)



6

事故対策の効果事例

これまでに実施してきた事故対策の紹介

国道23号 南玉垣交差点

交差点を改良し、追突事故が減少しました



対策内容

- 減速路面標示設置
- 右折導流帯の設置

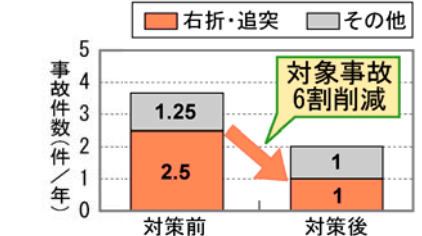
対策前 事故発生状況



対策後

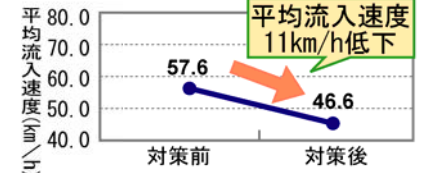


■ 対策前後の事故件数



※対策前: H16~H19の年平均事故件数
対策後: H21の事故件数

■ 対策前後の平均流入速度



追突事故、右折事故が減少
平均流入速度も低下

国道42号 滝原歩道整備

歩道を設置し、安全に通学できるようになりました



対策内容

- 歩道の設置

対策前



対策後



児童・保護者・先生の声

- 児童からは、
「綺麗な道を通り早くバス停に行けるようになった」
- 保護者からは、
「明るく安全になり近所への迷惑がなくなった」
- 校長先生からは、
「通学する児童は少ないが歩道ができ安全に通学出来るようになった」

と聞いています。

歩道の整備により
地域の安全な通行を確保

2010.12

国土交通省 中部地方整備局

三重河川国道事務所 〒514-8502 津市広明町297

紀勢国道事務所 〒515-0005 松阪市鎌田町144-6

北勢国道事務所 〒510-8013 四日市市南富田町4-6

<http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/> <道路管理第二課> TEL (059) 229-2222 FAX (059) 229-2380

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisei/> <管理第二課> TEL (0598) 52-5367 FAX (0598) 52-5370

<http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/> <管理課> TEL (0595) 82-1312, 8403 FAX (0595) 83-1319

三重県警察本部

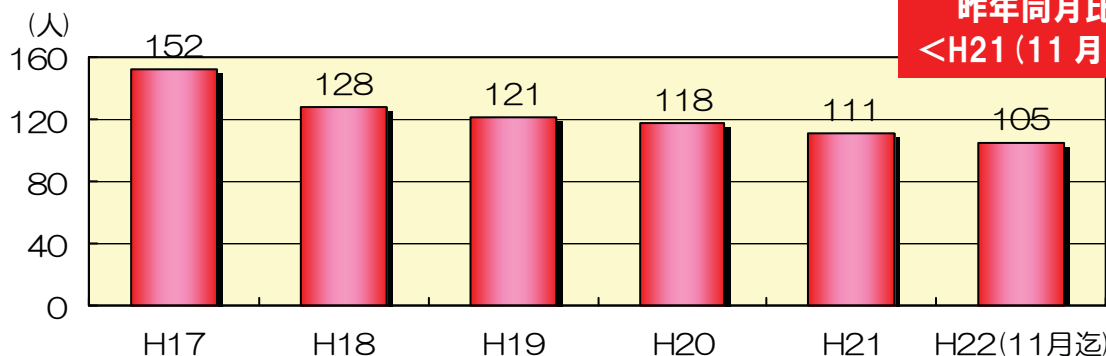
〒514-8514 津市栄町1-100

<http://www.police.pref.mie.jp/> <交通規制課> TEL (059) 222-0110

長野県事故ゼロプラン

(事故危険区間重点解消作戦～ハラハラ箇所の解消に向けて～)

○平成22年11月30日までに**死者数が105人(昨年同月比11件増)**と県内全域で死亡事故が多発している状況です。

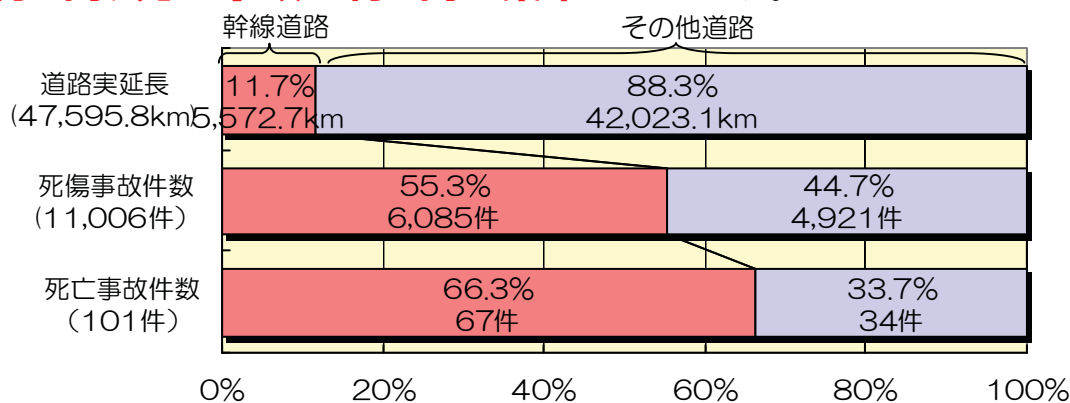


昨年同月比11件増
<H21(11月迄):94人>

長野県内の死者数の経年変化

H17~H21：交通事故統計年報
H22：交通事故死者日報

○県内道路総延長の約1割である幹線道路(国道、県道)に死傷事故の約6割、死亡事故の約7割が集中しています。



長野県内の道路種類別事故発生状況(H21)

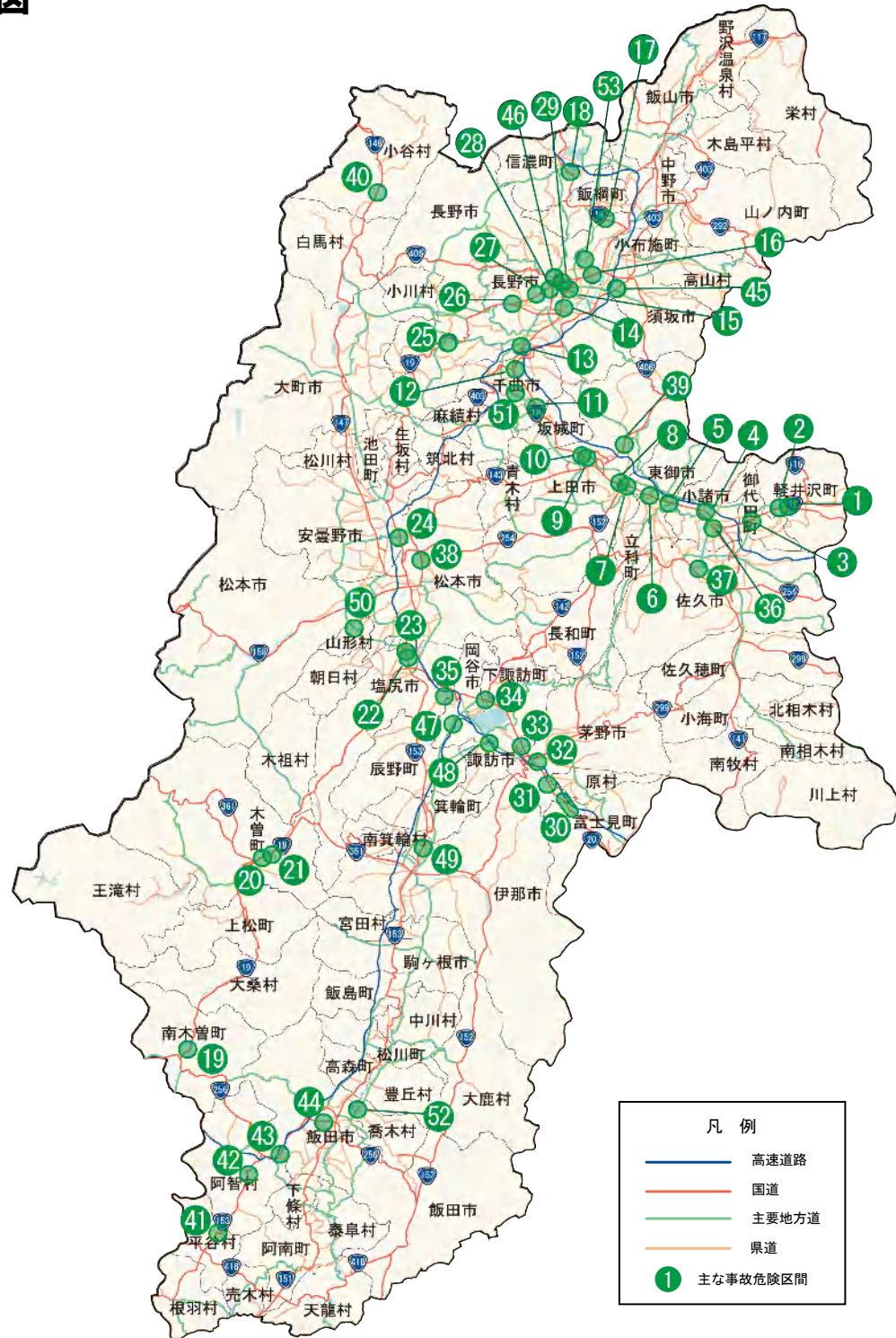
死傷、死亡事故：交通事故統計年報(H21)
道路実延長：道路統計年報(H20.4)

- ・事故データ及び道路利用者等の声から県内の交通事故等の課題を有する区間を抽出しました。
- ・抽出された課題区間は、早期の対策が可能で、かつ高い効果が期待される区間から対策を実施していきます。

平成22年12月

国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所
国土交通省 中部地方整備局 飯田国道事務所
長野県 建設部

位置図



事故危険区間の選定の視点

A.事故多発区間	死傷事故率が県平均の5倍以上の区間を抽出
B.死亡事故多発区間	死亡事故が発生した区間を抽出
C.特徴的な区間	5項目の指標(③自転車・歩行者事故件数、④夜間事故件数、⑤高齢者事故件数、⑥正面衝突・車両単独件数、⑦追突事故件数)のうち県平均の5倍以上である項目が3項目以上該当する区間を抽出
D.安全性の危惧	地域の声やパブコメ意見等、公安委員会からの指摘があった区間を抽出
E.ハラハラ箇所	平成18、21年度に抽出したハラハラ箇所に該当する区間を抽出

長野県内の主な事故危険区間

No.	路線名	対象区間(地先名)	交差点名	管理主体	選定の視点				
					A 事故多発区間	B 死亡事故多発区間	C 特徴的な区間	D 安全性の危惧	E ハラハラ箇所
1	国道18号	軽井沢町追分～長倉付近		国	●			●	
2	国道18号	軽井沢町追分	浅間サンライン入口交差点	国			●		●
3	国道18号	御代田町馬瀬口付近		国		●		●	
4	国道18号	小諸市諸付近		国				●	
5	国道18号	東御市滋野乙付近		国	●		●	●	
6	国道18号	東御市常田	常田交差点	国			●	●	
7	国道18号	上田市大屋付近		国	●		●	●	
8	国道18号	上田市大屋	大屋交差点	国			●		●
9	国道18号	上田市常磐城～上田市秋和付近		国			●	●	
10	国道18号	上田市上塩尻	上塩尻東交差点	国				●	
11	国道18号	千曲市磯部～坂城町坂城付近		国				●	
12	国道18号	千曲市杭瀬下	杭瀬下交差点	国			●		●
13	国道18号	長野市屋代	篠ノ井橋南交差点	国		●	●	●	
14	国道18号	長野市青木島町網島	網島交差点	国			●	●	
15	国道18号	長野市高田	上高田北交差点	国		●	●		
16	国道18号	長野市北尾張部～長野市北長池付近		国	●	●	●	●	
17	国道18号	飯綱町普光寺	牟礼駅前入口交差点	国				●	●
18	国道18号	信濃町古間付近		国				●	
19	国道19号	南木曾町読書付近		国*				●	
20	国道19号	木曾町日義	原野交差点	国*		●		●	
21	国道19号	木曾町日義付近		国*	●		●	●	●
22	国道19号	塩尻市広丘野村	九里巾交差点	国		●	●	●	●
23	国道19号	塩尻市広丘野村	堅石原工業団地入口交差点	国			●	●	●
24	国道19号	安曇野市豊科田沢	田沢交差点	国			●	●	●
25	国道19号	長野市信州新町新町付近		国		●	●	●	●
26	国道19号	長野市安茂里小市付近		国				●	
27	国道19号	長野市安茂里付近		国			●	●	
28	国道19号	長野市中御所	バスターミナル前交差点	国			●	●	
29	国道19号	長野市鶴賀	市役所前駅交差点	国			●		●
30	国道20号	富士見町富士見付近		国				●	●
31	国道20号	茅野市金沢舟付付近		国				●	
32	国道20号	茅野市宮川	宮川交差点	国			●	●	
33	国道20号	諏訪市四賀桑原	四賀桑原交差点	国			●		●
34	国道20号	下諏訪町矢木東付近		国	●			●	
35	国道20号	岡谷市今井付近		国				●	●
36	国道141号	小諸市赤坂一丁目	赤坂交差点	国					●
37	国道142号	佐久市跡部		長野県					●
38	国道143号	松本市岡田		長野県					●
39	国道144号	上田市本原		長野県					●
40	国道148号	北安曇郡小谷村雨中		長野県					●
41	国道153号	平谷村鞠付近		国*		●			
42	国道153号	阿智村恩田～智里付近		国*	●		●	●	
43	国道153号	阿智村春日	春日交差点	国*				●	
44	国道153号	飯田市鼎名古熊	名古熊西交差点	国*		●	●	●	
45	国道403号	須坂市井上町幸高		長野県					●
46	国道406号	長野市茂菅		長野県					●
47	主要地方道下諏訪辰野線	岡谷市川岸		長野県					●
48	主要地方道岡谷茅野線	諏訪市大熊		長野県		●			●
49	主要地方道伊那辰野停車場線	伊那市上牧		長野県				●	●
50	主要地方道塩尻鍋割穂高線	松本市上竹田		長野県				●	
51	主要地方道長野上田線	千曲市上山田町		長野県					●
52	一般県道上飯田線	豊丘村馬場		長野県				●	
53	一般県道長野豊野線	長野市三才		長野県	●		●		●

注) 管理主体の国*は、中部地方整備局管内を示す

長野県内の事故危険区間の選定プロセス

STEP 1

県内の事故データを分析

【長野県内の幹線道路(国道・県道) 概ね17,000区間】

STEP 2

道路利用者及び地域住民
へパブコメ等を実施



STEP 3 選定区間の視点

A. 事故多発区間

①死傷事故比

B. 死亡事故多発区間

②死者数

C. 特徴的な区間

③自転車・歩行者事故件数

④夜間事故件数

⑤高齢者事故件数

⑥正面衝突・車両単独件数

⑦追突事故件数

D. 安全性の危惧

⑧地域の声(パブコメ意見含む)

⑨公安委員会からの指摘(新事故危険箇所含む)

E. ハラハラ箇所

⑩H18ハラハラ箇所

⑪H21ハラハラ候補箇所

STEP 4

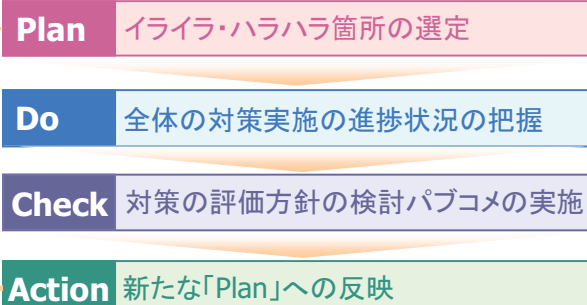
パブコメ等の結果を踏まえ、長野県移動性・安全性向上検討委員会の
審議を経て、事故危険区間(780区間)を選定

STEP 5

課題が大きく、かつ高い効果が期待される等、
代表的な区間:新ハラハラ箇所(53区間)を選定し公表

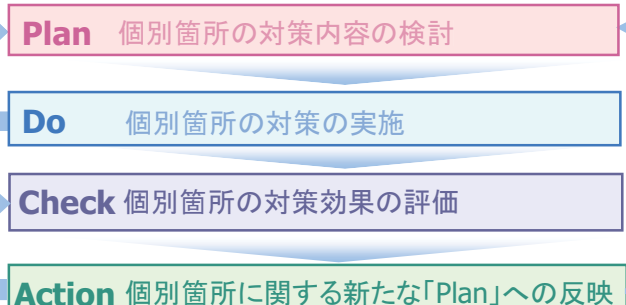
<長野県におけるPDCAサイクルの考え方>

<長野県全体PDCA>



長野県移動性・安全性向上検討委員会での取り組み

<個別箇所PDCA>



「長野県事故ゼロプラン」での取り組み